

子ども
由布の
学び検定

資料集

由布市教育委員会



目次

はじめに.....	1
第 1 章 由布市について.....	3
由布市はどんなまち？.....	5
由布市の花、木、鳥.....	7
市民憲章.....	8
由布市非核・平和都市宣言.....	9
由布市の 10 年先をみつめる「まちづくりの計画（由布市総合計画）」	10
由布市の地域（挾間、庄内、湯布院）.....	11
第 2 章 由布市のくらしと文化.....	17
由布市の交通.....	19
由布市の文化・芸能活動.....	21
由布市のいろいろなおまつり.....	25
由布市の料理（郷土料理）.....	32
由布市の文化財.....	36
第 3 章 由布市のまちづくり活動.....	45
みんなで健康、元気になろう～由布市健康立市.....	53
由布市のしごと.....	55
由布市のまちづくりに貢献した人.....	63
第 4 章 由布市の自然.....	67
由布市のたくさんの温泉.....	78
由布市から地球を感じる「由布ジオパーク」.....	82
第 5 章 資料編.....	85

はじめに

この資料集は、
由布市のたからものを
ぎゅっぎゅっとまとめたものです。
どこから読んでも大丈夫。



例えば、パラパラとめくって目の引かれたところから、または、目次を読んで「知りたいな!」と思ったところのページを開いてみましょう。

「なんだかおもしろそう」
「ちょっときになる」
「これってなんだろう」という気持ちを
大切にしてください。
さあ、さっそく開いてみよう。



大人の方へ

これは「子ども由布の学び検定」のために作られた資料集ですが、大人の方にも楽しんでいただける内容となっています。ぜひ、由布市の魅力を再発見してください。

第1章

由布市について



由布市はどんなまち？

ゆふし 由布市について

ゆふし おおいたけん ちゅうおう いち
由布市は、大分県のほぼ中央に位置して
います。面積は 319.32km²です。由布
岳、黒岳という大きな 2 つの山に挟まれ
ています。

ゆふだけ ゆふいん べっふし あいだ
由布岳は湯布院と別府市の間にある
標高 1,584m の山で、「豊後富士」とも呼
ばれます。

くろだけ しょうない たけたしくじゅうまち あいだ やま ゆふだけ
黒岳は、庄内と竹田市久住町の間にあ
る 1,587m の山です。由布岳も、
黒岳も「阿蘇くじゅう国立公園」に指
定されています。

ゆふし ま なか なが おおいたがわ ゆふいんぼんち げんりゅう しょうないちいき
由布市の真ん中を流れる大分川は、由布院盆地を源流に、庄内地域、
挾間地域を通り、大分市を流れて海に出ます。長さ 55km の一級河川
です。



●調べてみよう、やってみよう！●

やってみた
チェック

1	自分の住んでいる場所を地図で調べてみよう。	
2	由布岳の登山口にいてみよう。	

ゆふし ししやう 由布市の市章

かたち
形は、「YUFU」の「Y」をイメージし、
のびのびと生きる市民の様子を表しています。

いろ
色は、オレンジ色=太陽、緑色=大地を表し、
自然に恵まれた由布市をイメージしています。



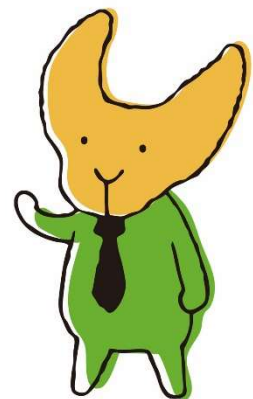
ゆーふー

「ゆーふー」はゆふしのゆるキャラです。
ちょっとメタボ気味の謎の生き物です。

ゆふしやくしょせんてんぶ きんむ ゆふし
由布市役所宣伝部に勤務し、由布市をみんなに知っ
てもらおう活動とみんなが住みやすいまちを目指して
まいにちがんば
毎日頑張っています。

あたま かたち ゆふし ちけい
頭の形は由布市の地形、
くち かたち
口の形は「YUFU」のYの字を表しています。

へいせい
平成23（2011）年8月に一般公募により
う
生まれました。



ここからは、ゆーふーが
時々登場するよ！
何種類のポーズがあるか
数えてみよう！

由布市の花、木、鳥

ゆふし はな 由布市の花～コスモス



ちつじょ ちょうわ うちゅう
「秩序と調和をもつ宇宙」という
いみ をもち、すでに ゆふし ない ひろ
意味をもち、すでに由布市内で広く
う そだ した
植え育てられており、親しまれてい
ます。

ゆふし き 由布市の木～アラカシ

ゆふし さとやま じせい か
由布市の里山に自生するブナ科の
じょうりょくじゆ づよ きょうこ
常緑樹です。ねばり強く、強固で、
もり かいふく ちから も
森を回復させる力を持っています。



ゆふし とり 由布市の鳥～ウグイス



「ホーホケキョ」という な ごえ ひん
のよ さで知られるウグイスは、ゆ
ふし しぜん なか おお せいそく
由布市の自然の中でも多く生息して
います。

市民憲章

ゆふし しみんけんしょう
由布市では、市民憲章として
「四つの誓い」を掲げています。

けんしょう
「憲章」とは、
“とても大事な取り決め”という
いみ
意味があります。

由布市民憲章 — みんなの誓い —

私たち由布市民は
みんなの幸せのために、
四つの誓いを果たすことに努めましょう。

(感謝と使命)

一、豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

(融和と郷土愛)

一、郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

(平等と仁愛)

一、一人ひとりの人権を尊重し
子どもやお年寄りを大切にす
あたたかいまちをつくります

(協働と希望)

一、地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります

(感謝と使命)

- 一、豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

(融和と郷土愛)

- 一、郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

(平等と仁愛)

- 一、一人ひとりの人権を尊重し
子どもやお年寄りを大切にす
あたたかいまちを
つくります

(協働と希望)

- 一、地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります

由布市非核・平和都市宣言

ゆふし かくへいき へいわ せかい じつげん む ひかく へいわとし せんげん
由布市では、核兵器のない平和な世界の実現に向け、「非核・平和都市」の宣言
おこな
を行っています。

わたし じんるい へいわ い けんり も へいわ じんるい
私たち人類は平和に生きる権利を持っており、平和は人類
きょうつう ねが げんじつ かくかくさん みるぞく しゅうきょう
共通の願いであります。しかし、現実には核拡散や民族、宗教、
しげんぶんそう ぶりょくこうし こうい ひんぱん お
資源紛争などによる武力行使やテロ行為が頻繁に起きており、
せかいへいわ しんこく きょうい
世界平和に深刻な脅威をもたらしています。

くに か こ ひろしま ながさき せかいゆいつ かくひばく たいけん
わが国は過去に広島・長崎において世界唯一の核被爆を体験
じんるい そんぼう きぐ かく きょうい ひさん わす
しました。人類の存亡さえ危惧される核の脅威と悲惨さを忘
ぜんせかい うった れきしてきせきむ お
れることなく、全世界に訴えていく歴史的責務を負っていま
す。

ゆふしみん にほんこくけんぽう かか こうきゅうへいわ りねん
由布市民は、日本国憲法に掲げられている恒久平和の理念を
こころ つよ きざ はんせんへいわ かくへいき ぜんめんとっばい めざ
心に強く刻み、反戦平和、核兵器の全面撤廃を目指していき
さら ちきゅうじょう ぶんそう ひ
ます。更に、この地球上にあらゆる紛争がなくなる日まで、
へいわ もと ゆ けつい も つづ ちか
平和を求めていく揺るがぬ決意を持ち続けることを誓い、こ
ひかく へいわとし せんげん
こに非核・平和都市を宣言します。



由布市の 10 年先をみつめる

「まちづくりの計画（由布市総合計画）」

由布市では、平成28(2016)年度から令和7(2025)年度までの10年間のまちづくりの計画をつくりました。それが「第二次由布市総合計画」です。由布市に住む人が少なくなっていくことが予想されるなか、どのようなまちを目指していけばいいかを定めています。

まちづくりの 目標

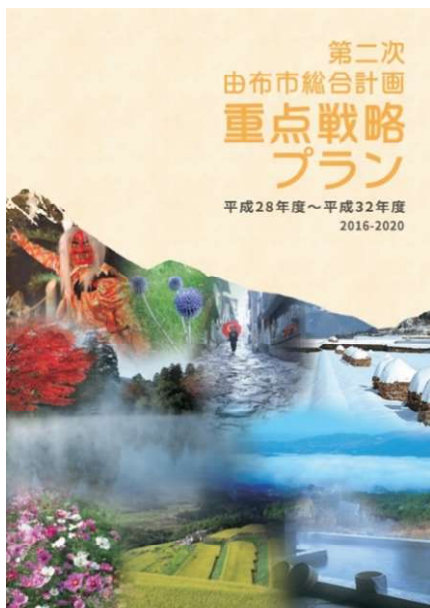
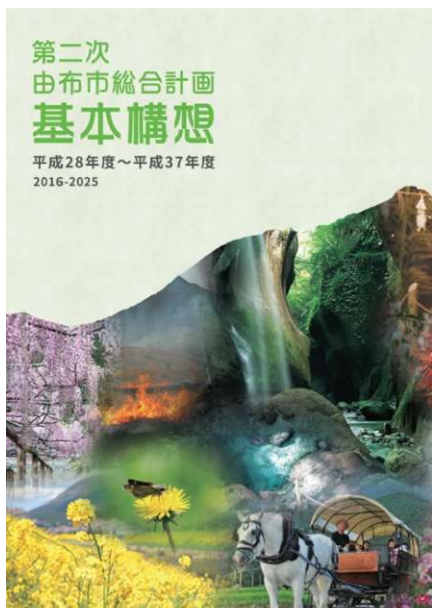
地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち・由布市

本総合計画に掲げる施策の取り組み等により、

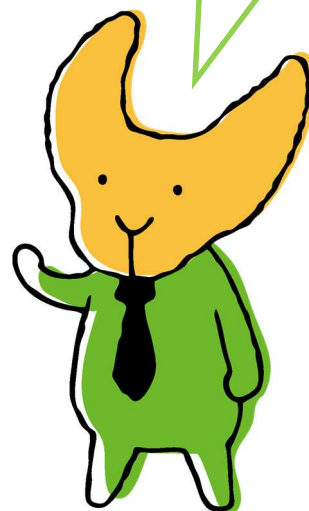
「令和7年(2025年)の将来計画人口**32,000**人」
を目指します。

まちづくりの 基本理念

「連携」と「協働」 「創造」と「循環」



総合計画は
由布市の
ホームページで
みることが
できるよ。



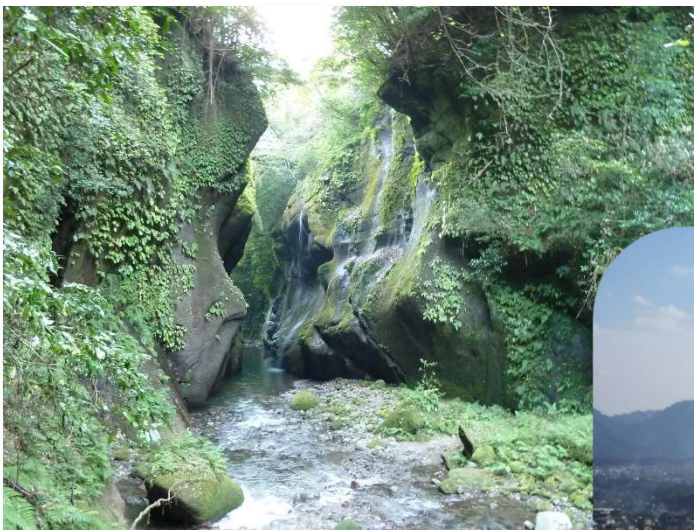
由布市の地域（挾間、庄内、湯布院）

由布市は平成17(2005)年10月1日に、挾間町・庄内町・湯布院町の3つの町が合併して誕生しました。

挾間地域

挾間地域は、由布市の東側、大分川の下流に位置する地域です。隣の大分市とも距離が近いので、大分市に仕事に行く人も多く暮らしています。そのため、由布市のなかでは一番人口が多く、今も住宅地やアパートが増え、子どもたちもたくさん住んでいる地域です。そのため、挾間地域は、大分市のベッドタウンや衛星都市とも呼ばれることがあります。

住みやすい環境がととのっている挾間地域ですが、北西部の別府市のほうへ丘が続く一帯には、日本棚田100選に選ばれた「由布川奥詰の棚田」や「由布川峡谷」など、豊かな自然がたくさん残っています。



庄内地域

庄内地域は、由布市の中央、大分川の中流に位置する地域です。

南西部は、「阿蘇くじゅう国立公園」に含まれる黒岳の裾野が広がっています。黒岳のふもとには名水100選に選ばれた男池湧水や、天然の炭酸水が湧き出しているところもあり、全国的に注目を浴びています。

伝統芸能として、庄内神楽が盛んで、毎年のお祭りには、市内や市外からたくさんの方が楽しみにやってきます。

由布市の中でも、農業を中心とした地域ですが、過疎化・高齢化が進んでおり、次の担い手を育てていくことが課題です。



東経 131 度 25 分 54 秒
北緯 33 度 12 分 9 秒の
大分県のど真ん中
「おおいたのへき」は
庄内にあるよ！



湯布院地域

湯布院地域は、由布市の西側、大分川の源がある地域です。北に火山活動が活発な伽藍岳（標高1,045m）、豊後富士と呼ばれる由布岳（標高1,584m）があります。由布岳のふもとに、由布院盆地が広がり、由布院駅前から金鱗湖までの一帯は、湯布院観光の中心地となっています。

由布院温泉、湯平温泉は、国民保養温泉地として登録されており、温泉を中心とした観光が盛んです。湯布院を盛り上げようと地域の人々によって始められたお祭り「湯布院映画祭」や「牛喰い絶叫大会」などユニークなお祭りが、一年を通して、今も脈々と受け継がれています。



※ 2019年10月に塚原温泉、庄内温泉、挾間温泉を加えた5つの温泉地全域が「湯布院温泉郷」として拡充指定されました。

おまけのおはなし

～ “湯布院” と “由布院”、漢字が2つあるのはなぜ？

由布市になる前の「湯布院町」は、昭和30(1955)年に「由布院町」と「湯平村」が合併して誕生しました。旧「由布院町」は、主に由布院盆地内を中心とした一帯のことを言います。そこで湯平村と合併したことから、「湯平」の「湯」と「由布院」の「布院」とを合わせて、「湯布院」となったのです。観光地としては、「湯布院」の名前が広く知られていますが、JR久大本線の駅名は「由布院駅」となっているなど、訪れた人は疑問に思うかもしれません。由布院盆地内は「由」、湯平も含む場合は「湯」と考えてみるといいですね。

ほうげん 方言

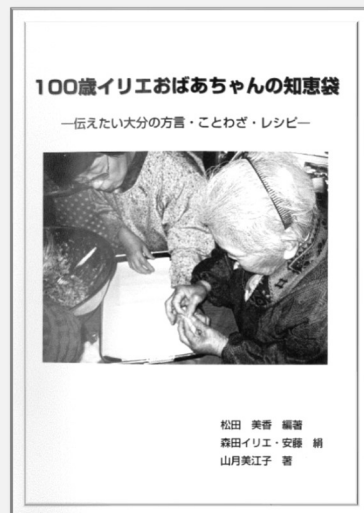
大分県は、瀬戸内海に面している場所であるため、昔から各地の交易が多く、アクセントや文法の両面で共通語に近いとされています。県内の方言を大別すると、東部方言A（国東半島）、北部方言、西部方言、南部方言、東部方言B（県南部）¹の5地域となり、それぞれ方言に大きな変化がみられます。しかし、現在は方言を話す人が急速に減り、地域の独特の言葉が消えています。

●音読してみよう！●

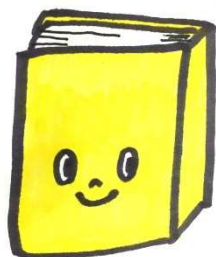
方言こぼればなし～「いのこまつりの行事」

11月のイノシシの日の晩、くろうなっちからそん年ん農作物の豊作を祈ると、モグラ打ちをするため、ワラで作ったイノコヅチを持ち、子どもたちが大人数ち家をまわり、「あるかえ、ねえかえ」ちゅうち返事のねえ所らあ、ぬかしち、家の人が出ちきたら「今夜のイノコ祝わんものは、鬼生め、蛇生め、つのんはえた子を生め」ち言うち外ん土ちうパタンパタンと打つ、打ちちもろうた家んしは、子どもたちにお菓子ゆくばち、「祝いましょう、祝いましょうー」ち又打ち次の家に行きよった。打ったイノコヅチは、なり木（柿の木等）に下げておくと、よう実るち言いよった。

『100歳イリエおばあちゃんの知恵袋』10ページより



●図書館に行ってみよう！●



『100歳イリエおばあちゃんの知恵袋』

由布市立図書館には、100歳の「イリエおばあちゃん」に聞いて作った図書があるよ。たくさんの方言や昔話、おばあちゃんが作っていた料理のレシピがのっているよ！図書館にいて、昔の由布市のくらしをのぞいてみよう。

¹ 松田美香「要地方言の活用体系記述 大分県由布市庄内町方言」より
<http://hougen.sakura.ne.jp/shuppan/2017/3-15.pdf>

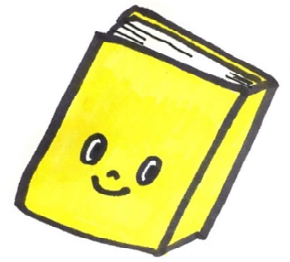
大分で1番目！“図書通帳”ができたよ！

図書館にある機械にこの通帳を通すと、自分が読んだ本のタイトルや貸出日を記録することができます。

由布市立図書館が大分で1番目（九州で2番目）にはじめました。通帳のカラフルな絵は大分出身の画家である

ザ・キャビンカンパニーさんによって描かれています。自分が読んだ

本の記録が残ることで読書の楽しみが増えます。ぜひ利用してみてください。



うらもかわいいよ！
ザ・キャビンカンパニー
さんは、由布市の小学校
だった場所をアトリエ
にしているんだ。



由布市の地名はふしぎがいっぱい

地域の名前は、人がそこに住むなかで、うまれてきた名前です。そんななかで、由布市にある地名でなかなかよめないものを選んでみました。

さて、知っている名前があるかな？



地 域	地 名 等	よみがな
挾 間	来鉢	くばち
	朴木	ほおのき
	東院	とい
	海老毛	えびけ
	鬼瀬	おにがせ

地 域	地 名 等	よみがな
庄 内	宇南水足	うなめみったり
	上重	あげじゅう
	櫟木	いちぎ
	蛇口	しゃくち
	透内	すきうち

地 域	地 名 等	よみがな
湯 布 院	槐木	にがき
	温湯	ぬるゆ
	乙丸	おとまる
	鹿出	ろくで
	男能濃松	おののまつ

第2章

由布市のくらしと文化



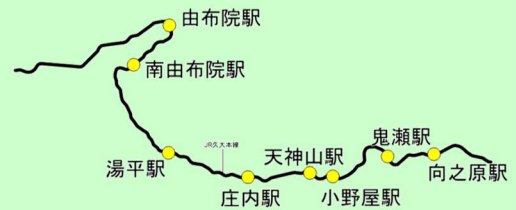
由布市の交通

ゆふしはし てつどう 由布市を走る鉄道

由布市の鉄道は、JR九州の久大本線が運行しています。市内には、8つの駅があります。JR久大本線を走る特急列車は、特急「ゆふ



いの森」(市内は由布院駅のみ停車)と、特急「ゆふ」(市内は由布院駅、湯平駅、向之原駅に停車)があります。由布院駅には、JR九州が運行する豪華列車「ななつ星」がとまります。普通列車は1時間に1本~3本が運行し、市民の足です。



由布院駅

ロビーが高さ12mの吹き抜けて、改札口がなく正面玄関からホームまで開放的につながっています。大分市出身の建築家、磯崎新氏が設計しました。木造の駅舎は、建物全体が黒で統一され上品でおしゃれ。待合室を兼ねたホールでは絵画の展覧会も行われ、どなたでも楽しむことができます。1番線ホームには、足湯(有料)があります。



みたことがあるかな？

「ななつ星」

豪華列車クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」が平成25(2013)年10月15日に運行を開始しました。「ななつ星」の利用客は、由布院駅で一度降りて由布院のまちなかを散策したあと、旅館で1泊しています。大分県内では、由布院駅以外に、別府駅、大分駅、豊後竹田駅に停車します。

ゆふし はし 由布市を走るバス

ゆふし はし しゅるい
由布市を走るバスは3種類あ
ります。1つめは地域の人がお
もに利用するバスです。これに

は、大分バスや亀の井バスという民間の会社が運行するものと、由
布市が運行するコミュニティバス「ユーバス」やスクールバスがあり
ます。2つ目は、観光客が主に利用するバスです。亀の井バスが由布院
と別府をつないで運行しています。3つ目は、
高速道路を利用して運行するバスです。福岡方面
や大分空港に行くことができます。由布院駅前の
バスセンターで乗ることができます。



ユーバスは、
このマークが
めじるしだよ！



ゆふし どうろ 由布市の道路

こくどう ごう ゆふし ちゅうしん はし おおいたし このえまち
国道210号が由布市の中心を走っています。大分市や九重町などのと
なりのまちと由布市を結ぶ大切な道路です。

おおいたじどうしゃどう じどうしゃせんよう どうろ ゆふいん
大分自動車道は自動車専用の道路です。湯布院インターチェンジが
湯布院に設置されています。

ふくおかし ふくおかこうこう ゆふいん
福岡市・福岡空港と湯布院をむす
ぶ高速バスや、大分空港と湯布院
をむすぶ空港バスが運行していま
す。一方で挾間地域は、大分イン
ターチェンジが近いです。平成28
(2016)年度には由布岳スマート
インターチェンジが開設しました。



由布市の文化・芸能活動

しょうないかぐら 庄内神楽

庄内地域

市指定重要文化財【無形民俗文化財】平成 19 (2007) 年 6 月 29 日指定

由布市では各地域で「神楽」が受け継がれています。特に庄内地域では、約200年続く「庄内神楽」があります。庄内神楽の特徴は勇壮でリズムカルな舞で、観客を魅了します。今では、神楽座だけでなく市内の保育園や由布高校でも取り組まれています。

庄内神楽は、大きく「阿蘇野地区系」神楽と、「庄内地区系」神楽の2つに分けられます。

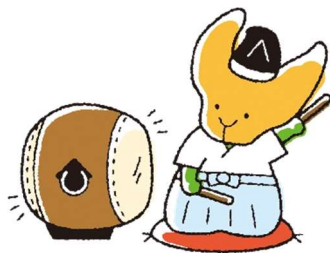
阿蘇野 地区系 神楽

阿蘇野神楽と中臣神楽の2社が伝統を受け継いでいます。起源は古く、阿蘇野神楽は、天明7(1787)年江戸時代の終わりごろ、中臣神楽は明治5(1872)年ごろと言われ、どちらも朝地町の深山八幡深山流神楽の流れをくむものです。この2社は継承された形を頑なに守りながら現在に至ると言われています。



庄内地区系神楽は明治12(1879)年ごろに庄内町高津の佐藤菊太郎氏により、豊後大野市大野町の上津八幡犬山神楽を伝授されたと言われています。佐藤氏は庄内神楽の先駆者として活躍しました。佐藤氏と、その子孫である長尾東氏により現在の庄内地区系神楽の多くの座が生まれています。今では、湯布院地域、挾間地域、大分市等で数多くの神楽座が庄内地域から伝授されています。

庄内 地区系 神楽



ごほうれいし
五方礼始

神楽を奉納するに当たり五方（東、南、中央、西、北）を清める舞です。陰陽五行説に従って東は木の神で青色、南は火の神で赤色、中央は土の神で黄色、西は金の神で白色、北は水の神で黒色であらわされています。日本の神話によれば、天地の創生と神々の生成を題材としたものです。



しばひき
柴曳

天の岩戸開きを祈って、天児屋根命・太玉命が八坂瓊の勾玉や八咫の鏡を真榊に掛け、岩戸の前に奉納するため、天香具山の真榊を根こそぎにするという神話を題材とした勇壮な舞です。



かごゆみ
鹿見弓

鹿見弓は、「武者」又は「天之鹿見弓」ともいいます。日本の神話による天の岩戸が開かれ、天照大神が連れ出されて再び世の中が明るくなったのを八百万の神々が鹿狩に使う天之鹿見弓と天羽羽矢を持ってお祝いに舞う神楽です。

● 庄内地域の神楽座 ●

阿蘇野神楽座
櫟木神楽座
大龍神楽座
小野屋神楽座
雲取神楽座

庄内原神楽座
竹の中神楽座
中臣神楽座
平石神楽座
庄内子供神楽座

みの草神楽座
瓜生田神楽座

おろちたいじ 大蛇退治

大蛇退治(八雲払)は、綱伐・蛇斬を変曲・変舞したものといわれています。物語は、高天原を追放された素戔鳴尊が、出雲の国簸の川の上流で八岐の大蛇を退治して、櫛稲田姫を助け八重雲を切り払い新居の宮居に八重垣を作るというものです。また、櫛稲田姫に付き添っている足摩乳(足名椎)・手摩乳(手名椎)は、足や手となって、という働きを意味し、櫛稲田姫の櫛は神秘力、すなわち魔除けの靈義、稲田姫は水田を生み出すの義といわれます。



くにつかさ 国司

日本の神話における出雲地方のために降臨神話を題材とした舞です。高皇産靈尊が経津主命と武甕槌命を遣わし、大国主命と国譲りについて談判をし、大国主命は御子事代主命と相談して国譲りを行う勇壮な舞です。(この場合、仲裁の使者として鳥船命又は、稲背脛命というチャリが登場して道化役を演じています)。

きけんじょう 貴見城

古事記・海神宮・日本書紀・海幸山幸を題材としたもので、瓊々杵尊の子に火闌降命(火酢芹尊)・彦火々出見命という兄弟神の物語です。二人はそれぞれが持っていた釣竿と弓矢を交換しました。弟神彦火々出見命が兄神火闌降命の釣竿で魚を釣っていたところ、釣鉤をとられてしまい別の釣鉤を作り兄神火闌降命に返したが、元の釣鉤を返すよう強要され弱っているとき、海神の助けで海神宮(貴見城)を訪れ釣鉤を探し出すという舞です。

● 挾間・湯布院地域の神楽座 ●

【挾間地域の神楽座】

上市神楽座
府内神楽保存会

【湯布院地域の神楽座】

並若神楽社
由布院神楽保存会
湯平谷川神楽

湯平子供神楽
ゆふいん子供神楽社

市指定重要文化財【無形文化財】平成 19 (2007) 年 6 月 29 日指定

「豊の国ゆふいん源流太鼓」は昭和54(1979)年に結成された和太鼓集団です。昔から地域に伝わっていた太鼓の調べを地域の人に知ってもらい伝えていき、地域を元気にしたいという想いで始めました。日本だけでなく、海外公演も実現しています。子どもたちに伝統文化を伝える活動を続け、子どもたちで結成する「ゆふいん源流少年隊」やその流れをくむ「三代目源流」は日本太鼓ジュニアコンクールにおいて、全国優勝するという快挙を成し遂げました。

海をこえて活やくする「豊の国ゆふいん源流太鼓」

結成当時、太鼓といえばお祭りや年に1~2度演奏される程度でした。一年間猛練習し「ゆふいん温泉まつり」で演奏を行ったことでメンバーは舞台上で演奏する喜びを知り、もっと和太鼓の魅力を伝えたいとさらに練習に打ち込みました。その結果、活動範囲は国を飛び越えて広がり、韓国で公演を行いました。この海外公演をきっかけに、現在まで60か国以上の地域で演奏やワークショップを実施し、国際交流を行っています。



由布市のいろいろなおまつり

どのおまつりに
行ったことが
あるかな？

由布市には、それぞれの地域ならではのまつりがたくさんあります。季節ごとに紹介します。



春

くろだけ ゆ ふ だけやまびら
黒岳・由布岳山開き(4月～5月)

あたたかくなってくると、由布市の山々はいっせいに芽ぶきの季節を迎えます。くじゅう連山の一つの黒岳では登山口のある男池を会場に、由布岳では、由布岳正面登山口を会場にして、登山者の安全を祈願する神事などがおこなわれます。

庄内地域



～黒岳の山開き～

湯布院地域



～由布岳の山開き～

おんせんまつ
ゆふいん温泉祭り(4月)

昭和25(1950)年に始まった温泉に感謝するお祭りです。毎年4月中旬におこなわれます。「献湯祭」という温泉のめぐみに感謝する儀式からはじまり、由布市親善大使任命式、伝統芸能の公演などの多彩な催しが行われています。

湯布院地域



ゆのひらおんせん
湯平温泉まつり(5月)

湯布院地域

ゆのひら おんせん めぐ かんしゃ まつ
湯平の温泉の恵みに感謝するお祭り
す。平成30(2018)年は139回目
かいせい ねん かい め
が開催され伝統のあるお祭りです。幼稚園
かいさい でんとう まつ ようちえん
の子どもたちによる稚児行列や参加者
こ ち こぎょうれつ さんかしゃ
が仮装をして石畳の坂道をかけあがる
かそう いしたみ さかみち
「地獄の駕籠かきレース」など、この日
じごく かご おお
は湯平温泉の石畳が多くの人でとても
ゆのひらおんせん いしたみ おお ひと
にぎわいます。



湯布院地域



ぶんか きろくえいがさい
ゆふいん文化・記録映画祭(6~7月)

へいせい ねん はじ えいがさい ゆふいんえいがさい
平成10(1998)年に始まった映画祭で、「湯布院映画祭」と
は別の文化、教育、科学、記録映画の映画祭です。映画と交流会を通
べつ ぶんか きょういく かがく きろくえいが えいがさい えいが こうりゅうかい とお
して、くらしをみつめてきました。この映画祭と縁の深かった記録
えいがさい えん ぶんか きろく
映像作家の松川八洲雄監督にちなんで松川賞も作られました。
えいぞうさか まつかわ や す おかんとく まつかわしょう つく

おんがくさい
ゆふいん音楽祭(7月)

湯布院地域

ゆふいん かいさい
湯布院ラックホールで開催されているクラシックの音楽祭です。昭和50
おんがくさい しょうわ
(1975)年の大分県中部地震が発生し
ねん おおいたけんちゅうぶじしん はっせい
た年に由布院の元気を発信しよう
とし ゆふいん げんき はっしん
と始まったイベントでしたが、平成21
はじ へいせい
(2009)年に終了しました。平成28
ねん しゅうりょう へいせい
(2016)年4月に起きた熊本地震によ
ねん がつ お くまもとじしん
り復活し、地元(ふっかつ)に活気(じもと)をもたらし(かっき)ています。



おのやじゅうしちやかんのんさい 小野屋十七夜観音祭(8月)

庄内地域

およそ 200年前、小野屋地区の伝治が淵とよばれる川の中に大きな亀が住んでいました。人々が、川を渡る際に亀の背中を石と間違えて、水に落ち、死んでしまうことがたびたびありました。この川で亡くなった人たちのたましいを弔うことから始まったお祭りです。



今では、多数の出店が並び、精霊流しや神楽、花火大会など、いろいろな催しが行われます。子どもたちも楽しみにしているお祭りです。

挾間地域

ゆふし なつまつ ゆふし はなびたいかい 由布市はさまこども夏祭り・由布市はさま花火大会(8月)

昼間は「由布市はさまこども夏祭り」が行われ、懐かしい遊びの体験コーナーや子どもひろばなどがあります。夕方からは盆踊り大会が行われ、その後は「由布市はさま花火大会」が行われます。大分川の河川じきが花火で明るく照らされます。この日は朝から夜まで挾間地域がにぎやかになる日です。

ゆふいんえいがさい 湯布院映画祭(8月)

湯布院地域

昭和51(1976)年に始まった、現存する中では日本最古の映画祭です。日本映画のファンと作り手が出会う場として、全員ボランティアで運営されています。前夜祭や映画監督・俳優による舞台挨拶、ゲストと参加者が話し合えるパーティーも行われます。

ゆのひらはぐま
湯平白熊まつり(9月)

湯布院地域

まいとしょうび かんけい がつ にち にち たにがわ
毎年曜日に関係なく、9月14日、15日に谷川
じんじゃ おこな れきし まつ こくほうじょう
神社で行われる歴史ある祭りで、五穀豊穰と
ちいき へいわ ねが むかし じもと あき たいさい
地域の平和を願う昔ながらの地元の秋の大祭
です。ゆうがた こ だいこ せんとう しろ け やり
夕方から子ども太鼓を先頭に、白い毛槍
かか はぐま おとしゅう ゆのひらおんせんいし
を掲げた白熊(=男衆)たちが湯平温泉石
だたみがい ね ある やましんじゃ くだ やましんじゃ
畳街を練り歩き、山神社へと下ります。山神社
こどもかくら
で子供神楽があります。



ゆ ふいんうしく ぜっきょうたいかい
由布院牛喰い絶叫大会(10月)

湯布院地域

しょうわ ねん はし だいしぜん かこ ひろ
昭和51(1976)年に始まったイベントで、大自然に囲まれた広い
ぼくそうち なか じもと ぶんご ぎゅう た あと
牧草地の中で、地元の「豊後ゆふいん牛」のバーベキューを食べた後、
さんかしゃ おも おも ぜっきょう こえ おお ないよう きそ
参加者が思い思いの絶叫をし、声の大きさや内容などを競います。
ないよう まいとしおお かんこうきゃく おとす こうれいぎょうじ
内容のユニークさから、毎年多くの観光客が訪れる恒例行事となっ
ています。



しょうないかぐらまつ しょうないちよう まつ
庄内神楽祭り・庄内町ふるさと祭り(11月)

庄内地域

まいとし がつ にち ぶんか ひ かくら さと ゆ ふ し しょうないちよう しょうないそうこう
毎年11月3日(文化の日)に、神楽の里由布市庄内町では庄内総合
うんどうこうえん しょうないかぐらまつ しょうないちよう まつ かいさい
運動公園にて庄内神楽祭り・庄内町ふるさと祭りが開催されます。

しょうないかぐらまつ しょうないかぐら けいしょう しょうないかぐらざ しょうないちい き
庄内神楽祭りは、庄内神楽を継承する庄内神楽座のほかに、庄内地域
ほいくえん こ ゆ ふ こうこう きょうどげいのうぶ おお かがら にな
の保育園の子どもたちや由布高校の郷土芸能部など多くの神楽の担
て いちどう かい しゅつえん ねんれいそう はばひろ しょうないかぐら
い手が一堂に会します。出演する年齢層も幅広く、庄内神楽のダイナ
ミックでリズムカルな舞を、朝から夕方まで一日中楽しむことができ
ます。同時開催の庄内町ふるさと祭りでは、農作物や特産品の販売、
どうじかいさい しょうないちよう まつ のうさくぶつ とくさんひん はんばい
40店以上の出店、子ども広場などがあり、多くの人でにぎわいます。
てんいじょう しゅってん こ ひろば おお ひと



はさま きちよくれまつ
はさま きちよくれ祭り(11月)

挾間地域

はさまちいき あき こうれい
挾間地域の秋の恒例イベント。「きちよ
くれ」とは、大分の方言で、「来て欲し
い」「来ておくれ」という意味です。挾間
が發祥の地とされる「やせうま」の配布
や地元で採れた農産物の販売、多種
多彩な飲食コーナーが並びます。神楽
や太鼓、ダンスなどのステージや子ども
も相撲大会など多くの催しでにぎわいます。



ならねっ子まつり(11月)

挟間地域

挟間地域の出身で、全国に児童文学
(童謡・童話)の種をまいた「児童文化の
父」後藤榎根を記念したお祭りです。榎
根が夢見た「児童文化の花」を咲かせる
ため、会場では榎根作品の読み聞かせや
子どもコーラス、押し花や昔の遊び体験
コーナーなど、たくさんの催しが行わ
れます。大人も子どももみんなで楽しめるお祭りです。



冬



つかはらあまざけ 塚原甘酒まつり(12月)

湯布院地域

毎年12月11日に開催される霧島神社
(男能濃松神社)のお祭りです。その年に
来たお米で甘酒をつくり、神様におそなえ
して、豊作と平和であることを感謝し、お祈
りをします。お祭りの準備は、甘酒づくりの
ための蔵(小屋)を建てることから始まります。



蔵にはしめ縄を張り、甘酒づくりには、決められた人しか入れない、
など様々な決まりごとがある伝統のあるお祭りです。



だいじょうごんじんじゃはる たいさい
大將軍神社春の大祭(1月)

だいじょうごんじんじゃ むかし ぎゅうば かみさま しんこう まいとし しんれき
大將軍神社は昔から牛馬の神様として信仰されています。毎年、新曆
がつ にち かかん おこな まつ のうこう
1月13日からの3日間に行われるこの祭りは、農耕にかかせなかった
ぎゅうば あんぜん けんこう いの まつ げんざい むびょうそくさい ねが ひとびと
牛馬の安全や健康を祈るお祭りであり、現在は無病息災を願う人々が
まい おとす しょにち ちょうない ちくさんのうか わぎゅう いっしょ さんばい
参りに訪れます。初日には町内の畜産農家が和牛と一緒に参拝し、
けいだい うえき かなもの あめ ろてん で にぎ
境内には植木、金物、飴など露店が出て賑わいます。



由布市の料理（郷土料理）

(1) 主食として食べられるもの

だんご汁

由布市だけでなく県内各地で日ごろから食べられていた「だんご汁」。作り方は、いりこを入れふっとうさせたお汁に、季節の野菜を入れます。そこに、小麦粉と塩と水で練って作った“だんご”を伸ばして入れます。最後に、お味噌で味付けをします。



昔は違った“だんご汁”？

昔は、「だんご汁」と言えば、米粉で作っただんごを手でにぎって入れたものでした。そして、今のように、小麦粉で作っただんごを手で伸ばしながら入れたものは「ほうちょう汁」といって、区別されていました。そのうち「だんご汁」は、大事な米粉の代わりに小麦粉を使うようになり、いつの間にか、昔の「ほうちょう汁」と「だんご汁」が一緒になって、今では「だんご汁」が郷土料理として知られています。

かしわ汁

農家では、多くの家でにわとりが飼われていました。祝い事など人が集まる特別なときに、家のにわとりをつぶして振る舞われていたのが、「かしわ汁」です。具はとり肉とごぼう、お汁は、醤油と酒で味付けします。山に囲まれた湯布院町では、とりを使ったお吸い物が好まれ、昔はごちそうだったそうです。



かしわめし(とりめし)

かしわめしは、とり肉を使った炊き込みご飯です。大分県内全域で親しまれていますが、作り方や入れる具は地域によって違います。昔、庄内地域では、来客や行事の時に、「塩け飯」の中に鶏肉(かしわ)と野菜を混ぜたものが作られていました。湯布院地域では、ごぼうと人参をそいで、鶏肉と一緒に炊いたかしわめしが親しまれてきました。



●作ってみよう！～かしわめしの作り方～●

材料		*作り方*
米	3合	①米を洗い、通常の水の量で炊く。
鶏肉	200g	②鶏肉、人参はこま切り、ごぼうは小さめにそぎ切りにする。
ごぼう	100g	③②を油で炒め、20分ほどにする。
人参	70g	④材料が柔らかくなったら、砂糖醤油で味を整え、炊き上がったごはんの上に平に乗せ、煮汁を少々かけたら、もう一度炊飯器のスイッチをいれ、追い炊きする。
しょうゆ	70cc	⑤スイッチが切れたらよくかきまぜる。
砂糖	少々	
サラダオイル	少々	

『100歳イリエおばあちゃんの知恵袋』63ページより

けんちゃん(けんちん)

大分県内でも「けんちん(けんちゃん)、けんちん汁(けんちゃん汁)」といって、各地で作られる郷土料理ですが、地域によってよび方や作り方が異なります。由布市で作られる「けんちゃん」は、お汁がない、具を中心とした料理です。お豆腐と根菜類を大きく切って、炊いたものです。



(2) 由布市のおやつ

やせうま

「やせうま」は由布市挾間町で生まれたとされています。もとは仏教の儀式や行事のときの食べ物ですが、昭和30(1955)年頃から家庭のおやつとして親しまれてきました。小麦粉でつくった団子を細長く引き伸ばし、ふっとうしたお湯でゆでます。塩と砂糖で味つけしたきなこをまぶして出来上がり。



「やせうま」のなまえの由来

その昔、平安時代にみやこからこの挾間の片田舎におちのびてきた貴族の子どもがいました。名前は藤原鶴清磨といいました。鶴清磨は、おなかがすくと、乳母の「八瀬(やせ)」におやつをせがみます。そうして八瀬が作ってあげたのがこの「やせうま」です。それから鶴清磨は、おなかがすくと「やせ、うまがほしい」「やせ、うま、うま」と言っておやつをせがんだそうです。それが「やせうま」というおやつになったということです。

じりやき(ひやき)

子どものおやつや雨の日の「こびる(こびり)」としてよく作られていたのが、「じりやき(ひやき)」です。

じりやきは、小麦粉を水でゆるく溶いたものを薄くのばして焼きます。できた生地に黒砂糖やかぼちゃの“あん”を巻いて食べます。現代では卵を入れて、ふわっとおいしく作ります。「じりやき」と言われるようになったいわれは、“じりじり焼く”からとも、生地が“じりい(「ゆるい」の大分弁)”からとも言われています。県内各地で食べられています。



かぼちゃもち

地元でとれた小麦粉と、かぼちゃで作るおもちです。ベーキングパウダーを入れないため、ずっしりと重くなります。作り方は、小さく切ったかぼちゃに砂糖をまぶして一晩ねかせます。かぼちゃから水分が出てくるので、その水分で地粉をこね、かぼちゃと混ぜて蒸したらできあがり。



農家のおやつ～こびる・こびりの習慣

田植えや稲刈りなどで特に農作業の忙しい時期には、10時頃と15時頃に「こびる(こびり)」をとる習慣がありました。「こびる(こびり)」とは、「軽い食事」や「おやつ」のことです。「こびる(こびり)」で食べられていたものは、おにぎり、じり焼き(ひやき)、さつまいも、炭酸まんじゅう、ゆでもち、石垣もち・飯餅・あられなどがありました。

(3) 特別なときの料理

とき お斎

法事の最後に振る舞われるお料理を「お斎」と呼びます。昔は、お葬式や法事を家で行っていたので、近所の農家の方から野菜やお米をいただくなどしてお斎を作っていました。お斎というのは、もともと、お坊さんがお寺で食べる料理のことでした。そのため、肉や魚の使われない精進料理で、「殺生」を連想させるメニューはありませんでした。作り方や盛り付け方も決められていて、作るのが大変だったそうです。



今では、ホテルや料亭などで法事を行うことが一般的になりました。そのため、料理の内容も比較的的自由になっています。

由布市の文化財

「文化財」とは、由布市の歴史を知るための大切に守っていかねばならないもののことを言います。現在、由布市には国指定文化財が4件、県指定文化財が20件、市指定文化財が57件と全部で81件の文化財があります。ここでは、ぜひ、みなさんに知ってもらいたい文化財を紹介します。



文化財っていうのは、由布市のたからものことなんだって。

古いものばかりだと思ってたよ



古いけど、残っていることで昔の由布市がどんな地域だったのか、知ることができるよ。

しょくぶつや生きものは？



とくていの場所でしかみられないしょくぶつや生き物も記念物といった名前で登録されるよ。そうすることで、守っていくことができるんだ。

国指定重要文化財

けんぼんちやくしよくほうぎゅうこうりんぞう びじゅつひん こうげいひん 絹本著色放牛光林像(美術品・工芸品)

国指定重要文化財【絵画】平成2(1990)年6月29日指定

けんぼんちやくしよくほうぎゅうこうりんぞう はさま りゅうしょうじ てら ほう
絹本著色放牛光林像とは、挾間の龍祥寺というお寺をひらいた「放
ぎゅうこうりん ぼう え おお たて よこ
牛光林」というお坊さんの絵です。大きさは縦100.2cm、横50.4cm
で、せ まる うわ め づか するど め こうりん とくちょう ひょうげん
背を丸めて上目遣いの鋭い目に、光林の特徴が表現されていま
す。けんぼんちやくしよく きぬ のの いろ ぬ ほうほう おくふか ひょうげん あじ
絹本著色とは絹の布に色を塗る方法で、奥深い表現ができ、味わ
いのある仕上がりとなるのが特徴です。ほうぎゅうこうりん さい
放牛光林は、「10歳にしてす
でにほけきょう けこんきょう に きょう あんしょう とな つた
法華経と華嚴経の二経を暗唱して唱えた。」と伝えられています。
さいぜんご ちゅうごく わた まな りゅうしょうじ かいざん けんとくがん
30歳前後で、中国に渡り学びました。龍祥寺の開山が建徳元(1370)
ねん こうりん さい ねんご さい な
年、光林が81歳のときでした。そして3年後、84歳で亡くなってい
ます。



おおごしゃ おお てんねんきねんぶつ
大杵社の大スギ（天然記念物）

国指定重要文化財【天然記念物】昭和9(1934)年8月9日指定

ゆふいん おおごしゃ けいだい おお おお ね
湯布院の大杵社の境内にひときわ大きい大スギがあります。根っこの
まわ やく むね たか みき ふと やく き たか やく
回りは約15m、胸の高さでの幹の太さは約10m、木の高さは約37m
にもなります。じゅれい せんねんいじょう ねんげつ かせ
樹齢は千年以上ともいわれています。年月を重ねるご
とに、えだ お いろくな います が、いま あおあおとした は
をしげらせています。



イヌワシ

国指定文化財【天然記念物】昭和40(1965)年5月12日指定

イヌワシはタカの一^{いっしゆ}種で、するどいくちばしとツメをもち、ほかの動物^{どうぶつ}を食べる猛禽^{もうきんるい}類です。体長は75~95 cm、左右のつばさを広げると1m70 cm~2m20 cmにもなります。崖^{がけ}などに生える高い木に巣^はをつくり、主にノウサギやヤマドリ、ヘビ^へ等をえさとします。えさをとる場所は低い木^{おも}がしげっている場所^{ばしよ}や草原^{そうげん}のような開けた場所^{ひら}ですが、そのような場所^{ばしよ}が日本^{にほん}では少^{すく}なくなっている^{すく}ので、イヌワシが暮らすことができる場所^{ばしよ}も減^へっています。環境省^{かんきようしやう}が出した「絶滅^{ぜつめつ}のおそれのある野生生物^{やせいせいぶつ}の種^{しゆ}のリスト(レッドリスト)」では「絶滅^{ぜつめつ}の危険^{きけん}が増大^{ぞうだい}している種^{しゆ}」に指定^{してい}されており、とても貴重^{きちやう}な鳥^{とり}です。大分県^{おおいだけん}では、昭和61~63年度^{しやうわ}に調査^{ねん}がおこなわれ、オス^おとメス^めのつがい^{ちやうさ}が確認^{かくにん}されました。イヌワシが生活^{せいかつ}する範囲^{はんい}は広く、由布市庄内^{ゆふし}・湯布院^{ししやうない}地域^{ゆふいんちいき}、竹田市直入^{たけたし}・久住^{くじゆう}地域^{ちいき}、九重^{ここのえまち}町にまたがるくじゅう^{やまやま}の山々^{やまやま}です。また黒岳^{くろだけ}周辺^{しゆうへん}に巣^すがつくられていることも九州^{きゆうしゆう}で唯一^{ゆい}確認^{いつかくにん}されました。



△飛翔するイヌワシ（日本野鳥の会 大分県支部提供）

きゅうひ の いいん けんぞうぶつ
旧日野医院(建造物)

国指定重要文化財【建造物】平成 11(1999)年 12月指定

ゆふいんにあるひのびょういんは、えどじだいからはじまったいしゅのかけい
につくられたれきしのあるびょういんです。かわにしちくにあるきゅうひのいいんたてもの
めいじ27(1897)ねんにひのけだいまひのかなめけんせつ
ました。にほんしよくにんようしきけんちくをつくおおいだ
けんないもつとふるにほんめずらたてものへいせい
11(1999)ねんににほんじゅうようぶんかさいしてい
に日本での最も古いものとされています。日本でも珍しい建造物で、平成
11(1999)年に日本の重要文化財に指定されました。



●行ってみよう! ●

大工さんが作った洋風の木造建築です。玄関上のベランダやらせん階段などちいさなところまで、作っているよ。こて絵もあるよ。

大分県でも当時はめずらしい女性のお医者さん、日野俊子先生もここで活やくしたよ。



県指定文化財

はさまなおしげし ぼ ひ せきぞうごりんとう さんき 狭間直重氏の墓碑(石造五輪塔(三基))

県指定重要文化財【建造物】昭和 47(1972)年 3月 21日指定

はさままち りゆうしょうじ てら にしがわ かまくらじだい せんごくじだい はさ
狭間町の龍祥寺というお寺の西側には、鎌倉時代から戦国時代まで狭
ままちいったい しはい はさまし ぼち
間町一帯を支配していた狭間氏の墓地があります。その真ん中に、
いちばんおお ぼせき
一番大きくどっしりとした墓石があります。それがはさまししよだい はさま
なおしげ はか なおしげ おおともけ しよだいおおともよしなお まご かまくらじだい
直重のお墓です。直重は大友家の初代大友能直の孫で、鎌倉時代や
むろまちじだい こんらん じだい ちゅうごく げん くに き とき
室町時代の混乱していた時代に中国の元の国がせめよせて来た時、
おおともけ いちぞく はんえい ささ
大友家の一族としてその繁栄を支えました。



直重はどの家来よりも力もちで、どんな大男でも持ち上げるのでできなかった大きな石をかんたんに持ち上げて歩いてみせるほど、怪力の持ち主だったんだって。



オダニのくるま橋

県指定重要文化財【建造物】昭和 52(1977)年 3月 31日指定

「オダニのくるま橋」は庄内町櫛木の間田川にかかる石橋です。橋の長さは約12m、アーチ部分は幅約6m、高さは約4m。川幅に比べて大きくどっしりとした橋です。ばらばらな大きさの石を積み上げる「切り込みハギ」と呼ばれる技術が使われていますが、壁の部分は隙間がなく、きれいにつみ上げられています。由布市にある石橋の中でも一番古く、美しい橋です。たくさんの工夫によって支えられているこの橋は、「未来永劫流されない強い橋をかけるのだ」という当時の人々の思いが伝わってきます。



半円状にくり抜いたように見えるつくりの橋を「アーチ橋」といいます。大分県では「くるま橋」と呼ばれていました。世界各地でみることができ、橋のつくりかたです。



ゆふいん ぼぐん 由布院キリシタン墓群

県指定史跡【史跡】昭和 35 (1960) 年 3 月 22 日指定

由布院益地内にはキリシタンの墓、もしくは隠れキリシタンの墓と伝えられるものがたくさん残っています。その数は、500基以上とも言われています。このうち特に多くの墓が集まっているのが「並柳墓地」です。並柳墓地は現在も共同の墓地として使用されていますが、キリシタンのお墓は日本でよくみられる仏教式のものと



違い、直方体の平らな石を地面に置いただけのお墓です。ほとんどのキリシタンの墓では薄型に十字が彫られており、その交差の仕方にも様々な種類があります。

キリシタンの多い村だった由布院

戦国時代の大名、大友宗麟はキリスト教の宣教師の布教活動を守り、大友宗麟もキリスト教の洗礼を受けたためキリシタン大名と呼ばれました。

天正 6 (1578) 年、由布院地域の有力者だった奴留湯(ぬるゆ)氏一族が洗礼を受けたことや、大友宗麟の保護によりキリスト教は由布院にひろまり、宣教師とキリシタン達の手によって、由布岳の山頂に十字架が建てられたそうです。当時、由布院には 1500~2000 人のキリシタンがいたと言われています。天正 14 (1586) 年には今の興禅院の場所に「聖ミゲル教会」が建てられました。しかし、その年の 12 月、鹿兒島の島津軍が由布院に乱入し、教会も破壊しました。さらに翌年 6 月、豊臣秀吉が宣教師に国外に出ていくよう命じ、何度も出された禁教令により、キリシタンは少なくなってしまいました。



市指定文化財

あなんばし 阿南橋

庄内地域

市指定重要文化財【建造物】平成 19(2007)年 6月 29日指定

大分県では初となる洋式のアーチ型の石橋で、由布市の指定文化財に認定されています。直方体に加工した石を積むように並べる「布積み」と呼ばれる技法を使っています。実用的な橋としての機能だけでなく、石造美術としての「見せる」工夫も備えた美しい橋です。

えいけいじ ちゃがま 永慶寺の茶釜

庄内地域

市指定重要文化財【工芸品】平成 19(2007)年 6月 29日指定

庄内町五ヶ瀬の丘の上に、永慶寺というお寺があります。ここに大切にされている茶釜があり、羽を含む直径は 40cm ほどあります。湯が沸き立つ時に透かして見ると、金色に輝いて見えると言われています。永慶寺は建長 2(1250)年からあるお寺で、39代にわたり絶えることなく教えを守り保ち続けています。



永慶寺の茶釜の不思議～夜な夜な泣く金の茶釜

むかし、永慶寺には大きくて立派な金の茶釜があり、寺の宝物として大切にされていました。ところが戦国時代のある日、薩摩の島津勢が豊後に攻め込んできました。永慶寺のあたりでも戦いがおこり、寺もついに焼かれてしまいました。戦いが終わって、和尚さんが戻ってみると、大切な茶釜がなくなっています。和尚さんはとても心配して一生懸命探してみましたが、見つけることができませんでした。それから何十年もたったある時、妙な噂が広まりました。「大分にものをいう茶釜があるそう。永慶寺へ帰りたい、永慶寺へ帰りたいと、夜なくそう。不思議な茶釜じゃあ。」その茶釜の持ち主は、古道具屋でいい茶釜を見つけたので買って帰りましたが、このような奇妙な事がおこるので気持ち悪くなり、永慶寺に返すことにしました。永慶寺に帰った茶釜は、湯を沸かすとそれはそれは、何とも言えない、いい音がしました。その音は、静かにお経を唱えるようで、村人はその音を聞くと心が落ち着き、優しい気持ちになったということです。(出展:永慶寺史料)

第3章

由布市のまちづくり活動



由布市では、それぞれの地域でまちを元気にする取組がおこなわれています。どんなものがあるかみてみましょう。

いろいろな地域の「よいところ」を誰かに伝えたり、知ってもらおう活動がたくさんあるよ。だれかをさそって行ってみよう！



ゆふし かんこうきょく 由布市まちづくり観光局

ゆふし かんこうきょく ありかんくみあい
由布市には5つの観光協会と2つの旅館組合があります。それぞれの地域のよいところをたくさんの人に知ってもらえるよう、日々活動をしています。ゆふし かんこうきょくが手を取り合っ
て活動していくために「ゆふし かんこうきょく」という団体
ができました。平成30年4月
にオープンした「ゆふし ツーリストインフォメーションセンター」
を拠点にして活動します。



湯布院塚原高原
観光協会

由布院温泉
観光協会

湯平温泉
観光協会

はさま
由布川峡谷観光協会

庄内町
観光協会

由布院温泉
旅館組合

湯平温泉
旅館組合

由布市ツーリストインフォメーションセンター (TIC)

平成30(2018)年4月にオープンした由布市の観光拠点です。JR 由布院駅のそばにあり、国内外の観光客が気軽に立ち寄れる場所となっています。建築家は、大分県立美術館も設計した坂茂氏で、ガラス張りの2階建てです。TICの内部のデザインは、豪華寝台列車「ななつ星in九州」を手掛けた水戸岡鋭治氏ががてがけました。(写真:由布市まちづくり観光局 HP より)



ぶんごたいしょう だいとうてつどうものがたり
豊後大正ロマン大湯鉄道物語

げんざい きゅうだいほんせん ゆふし うんこう
 現在のJR久大本線がはじめて由布市を運行した
 ときは、えんせん ちいき ひと かね だ
 沿線の地域の人がお金を出しあって
 つくった「だいとうてつどう」なまえ てつどう
 つくった「大湯鉄道」という名前の鉄道でした。

だいしょう ねん がつ にち おおいたしえき
 大正4(1915)年10月30日に大分市駅から
 おのやえき かいぎょう やく ねんまえ
 小野屋駅までを開業しました。約100年前のこ

とになります。だいとうてつどう なまえ おおいた ゆのひら はし
 となりです。大湯鉄道という名前は、「大分」から「湯平」まで走る
 てつどう いみ かいぎょうとうじ じどうしゃ とちゅう
 鉄道という意味です。開業当時は、自動車はふきゅうする途中で、み

んなの移動手段はバスや鉄道でした。ゆのひら いくにも、おのやえき
 いどうしゆだん てつどう ゆのひら い おのやえき
 んなの移動手段はバスや鉄道でした。湯平に行くにも、小野屋駅が
 しゅうてん おのやしゅうてんがい ひと ばしゃ い き
 終点だったため、小野屋商店街にはたくさんの人や馬車が行き来し、

とてもにぎやかになりました。100ねんめ とし じっこういんかい
 とてもにぎやかになりました。100年目の年は、実行委員会をつくり、
 おのやえき きねん おこな
 小野屋駅などで記念イベントを行いました。



ゆふ けんきゅうかい のうそんみんぱく
由布グリーンツーリズム研究会(農村民泊)

のうか と のうぎょう たいけん のうそん
 グリーンツーリズムとは、農家に泊まり、農業を体験したり農村の
 ぶんか たいけん りょこう りよかん と たび ちが
 文化を体験できる旅行のひとつです。旅館やホテルに泊まる旅とは違
 った、とちく ひと こうりゆう れきし たいけん
 った、その土地で暮らす人との交流や歴史を体験することができます。
 ちゅうがくせい しゅうがくりょこう と かいがい きゃく
 中学生が修学旅行で泊まりにきたり、海外のお客さまもたくさん受け
 入れていています。



つじばしや 辻馬車

パッカパッカとひづめの音が心地いい辻馬車
は由布院観光の名物です。JR由布院駅をスタートし、
佛山寺から宇奈岐日女神社を通過して由布院駅に戻ります。
由布院の穏やかな風を感じながら馬車に揺られ、
自然豊かな景色を存分に味わうことができます。



湯布院の春を告げる辻馬車開き

辻馬車は、一年のうち、1月と2月は寒いのでお休みしています。毎年、3月のはじめに「辻馬車開き」が行われます。辻馬車開きが行われると、湯布院に春が来たなあと感じられます。当日は、馬車の運行安全祈願祭が行われます。



辻馬車は復興の
シンボル
だったんだ！

大地震から始まった湯布院のまちづくり

「牛喰い絶叫大会」や「湯布院映画祭」など、湯布院で行われている様々なイベントは、湯布院の観光温泉地としての歴史の中で、欠かすことのできない行事です。

そのきっかけは、昭和50(1975)年4月21日に起こった「大分県中部地震」でした。庄内町を中心として、各地が大きな被害を受けました。湯布院は大きな被害を免れましたが、「湯布院は壊滅的だ」という情報が広がり、観光客も減少します。そんな状況を打破するため始まったのが、「辻馬車」や「牛喰い絶叫大会」「湯布院映画祭」です。



テレビドラマの舞台に！湯布院「風のハルカ」撮影地

「風のハルカ」は平成17(2005)年10月～平成18(2006)年4月にNHKの朝に放送されたテレビドラマです。この物語は、地元の環境資源を活用したユニークなまちづくりで成功するも、活性化された現状を次の世代にどう引き継いでいかに悩む由布市の姿、そしてそこに生きる家族の試行錯誤を描いたものです。金鱗湖や由布院美術館、塚原小学校など、由布市内のいろいろな場所で撮影が行われました。

つかはらこうげん 塚原高原

ゆふだけ きたがわ つかはらこうげん ひょうこう
由布岳の北側にある塚原高原は、標高600mの
ところであり、みわたす限りに広がる丘陵地帯で
す。4世紀から人が住みはじめた伝統ある集落で、
おおいたけん ちくさん ちく
大分県ではじめて畜産をおこなった地区である

とされています。手つかずの自然に囲まれた
こうげん しき おりおり じょうけい へんか おとす ひとひと かんどう あた いま
高原は、四季折々に情景が変化し、訪れた人々に感動を与えます。今
も、つかはらこうげん きゅうりょうち ぼくそうち いとな はる のや
塚原高原の丘陵地は牧草地として営まれ、春になると、野焼きが
おこな いちめん ま くろ あたら くさ は
行われ、あたり一面は真っ黒になりますが、すぐに新しい草が生え、
うつく そうげん か つかはらこうげん がらだけ いま
美しい草原へと変わります。塚原高原のはしにある伽藍岳からは、今
ももくもくと噴気がたちのぼり、地球の力強さを感じられる場所とな
っています。そのふもとにあるつかはらおんせん かこう いずみ ぜんこく おんせん
塚原温泉「火口乃泉」は、全国の温泉
のなかでもさんせいど たか ゆうめい
酸性度が高いことで有名です。



「日本で最も美しい村連合」に参加しています。

塚原高原温泉地は、平成 23 (2011) 年に「日本で最も美しい村」連合に参加しました。「日本で最も美しい村」連合には、全国 63 の地域が参加しています²。「失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の風景や環境・文化を守り、地域資源を生かしながら美しい村としての自立をめざす運動を展開する」を目的に活動している団体です。大分県内での参加は塚原高原のみです。



² 63 地域の内訳は、29 町 24 村 10 地域 平成 20 (2018) 年 1 月現在。

参考：NPO 法人「日本で最も美しい村」連合ホームページ。 <http://utsukushii-mura.jp/about/overview/>

●聞いてみよう！～ゆふいんラヂオ局～●

ゆふいんラヂオ局は、由布市内の地域で FM ラジオ放送（超短波放送）を行っています。ラジオとインターネットで毎日放送しています。四季にちなんだ音楽番組のほかに、地域で活やくしている人たちの活動を紹介します。ラジオのチューニングはFM87.4Mhz。



このQRコードを読み取ると、ゆふいんラヂオがインターネットでできるよ！今日は、どんな音楽が流れているかな？どんな人が出てるかな？知っている人が出ているかもしれないね。



ぼうさい 防災ラジオ

ゆふいん市内^{ゆふいん}で土砂くずれ^{どしゃくずれ}や地震^{じしん}などがおこったり、おこりそうになったときに、すばやくひつような情報^{じょうほう}を受けとることができる「防災ラジオ^{ぼうさい}」をみなさんの家^{いえ}にくばっています。何か^{なに}がおこったときには、ラジオのスイッチ^{スイッチ}が自動^{じどう}で入ります。他のラジオ局^{ほかに}をきいている時は、自動^{じどう}で「ゆふいんラヂオ局^{きよく}」にかわって、緊急情報^{きんきゅうじょうほう}をお知らせします。



おうちにあるかな？



ゆふし ごとうち 由布市げんてい!ご当地ナンバープレート

ゆふしではご当地ナンバープレートとして、由布岳とゆるキャラ「ゆーふー」の描かれた原動機付自転車用のナンバープレートを交付しています。新規登録の際に通常のナンバープレートとどちらにするかを選択できるほか、すでに登録済みの車両であっても無料で交換することができます。



●探してみよう!●

1	ご当地ナンバープレートをつけたバイクを探してみよう。	
---	----------------------------	--

みんなで健康、元気になろう～由布市健康立市

由布市は、平成 25 (2013) 年 3 月に「健康立市 由布市」を宣言しました。

「ゆふ健康マイレージ」の取り組みや「ヘルスアップリーダー」の育成、「シニアエクササイズリーダー」の養成、ラジオ体操、水中運動教室など、いろいろな健康づくりをしています。

元気に生活するために、きみがやっていることをおしえてね！



由布市健康立市宣言文

私たち今を生きる者は、次の世代が輝かしい時代であることを念じ、健康で安心して暮らせる街にするための責務を負っている。

由布市は、「由布市総合計画」の基本理念のもとに、市民一人ひとりがいのちの循環を大切に、こぞって「健康立市」構築にむけた健康施策を積極的に推進することを誓い、ここに健康立市とすることを宣言する。

平成25年3月24日

由布市



健康マイレージ事業

一人ひとりの健康づくりをあとおしするための取り組みです。18歳以上の由布市民ならだれでも参加できます。「健康づくり3ヶ月チャレンジ」や、病院などでの健康チェック（健診）、健康づくりのイベントに参加する事でポイントがたまります。たくさんポイントがたまったらプレゼントがあります。

健康立市 由布市 由布市は平成25年3月「健康立市」を宣言しました

健康への意識を高めて商品券をゲット!

ゆふ健康マイレージ

チャレンジシート

健康づくり3ヶ月チャレンジで健康的な生活習慣を!

氏名	性別 男・女	①のポイント	②のポイント
生年月日 明・大・祝・平 年 月 日(年齢 歳)		③のポイント	④のポイント
住所 由布市		+ + + + の合計ポイント 10000ポイント以上で応募できます!!	
加入保険 国民・その他()		記入があればあると、商品券をお取りできない場合があります。	
電話番号 - -		運動時は、こまめな水分補給と休憩を行い熱中症等には十分注意してください	

けんこうおんせんかん

健康温泉館クアージュゆふいん

クアージュゆふいんでは、温泉をつかったプールで運動ができる場所です。ドイツの考え方を取り入れました。プールのほかにも、男女別のお風呂やトレーニングルームなどのいろいろな設備があります。たくさん体を動かした後、ゆったりとした時間をすごすことができる場所です。



ゆふし すいしんきょうぎかい 由布市クアオルト推進協議会

ゆふしでは、温泉や自然をいかして、滞在しながら健康になれる温泉地づくりを進めるため、「クアオルト」という考え方をとりいれてプログラムをつくっています。「クアオルト」とは、ドイツの言葉で、「療養地や健康保養地」という意味です。湯布院のまちをつくるなかで、ドイツに行き、勉強をしてみました。「ゆふし すいしんきょうぎかい」が中心となって活動しています。また全国でクアオルトに取り組むなか、まともに「日本クアオルト協議会」を立ちあげました。



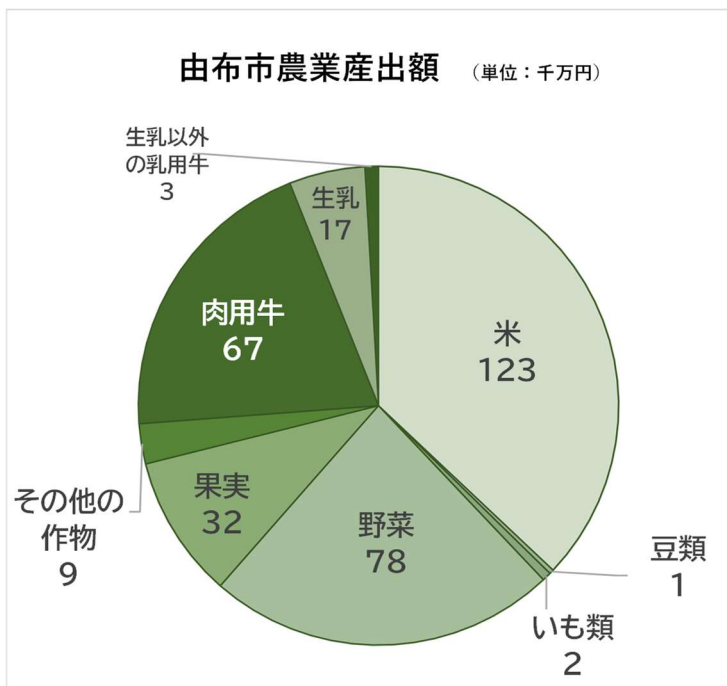
由布市のしごと

由布市にはいろいろな仕事があります。たくさんの種類の仕事が地域にあることで、わたしたちの暮らしは、なりたっています。由布市のおもな仕事を紹介します。



ゆふし だいじさんぎょう 由布市の第1次産業

第1次産業とは、おもに自然のめぐみを使って、わたしたちの食べるものを作る仕事です。農業、林業、水産業、畜産業などがあてはまります。野菜を育てたり、魚を採る、育てる、牛やにわとりを育てるということを仕事にします。



由布の農業の産出額は、

第1位：お米

第2位：野菜

第3位：肉用牛

第4位：果実

となっています。

今日、食べたお米は、
どこでとれたお米かな？

出典：都道府県単位，農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」，市区町村単位，農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」令和2（2020）年データ



にほん たなだ せん えら ゆふがわおくづめ たなだ
「日本の棚田100選」に選ばれた由布川奥詰の棚田

ゆふし のうぎょう こめづく ちゅうしん
 由布市の農業は、お米作りが中心で
 す。いちねん とお た
 一年を通して、田んぼのいろい
 ろな変化を見ることができます。ゆ
 ふし たなだ
 布市には、たくさんの棚田があり、
 わきで 美味しいみずをつか
 出ているおいしい水を使っておいし
 いおこめがそだちます。なかでも、はさま
 ちいき ゆふがわそ たなだ
 地域の由布川沿いにある棚田のなか
 で「ゆふがわおくづめ たなだ にほん たなだ せん えら
 「由布川奥詰の棚田」が「日本の棚田100選」³に選ばれました。



棚田の名称	よみかた	市町村名
由布川奥詰	ゆふがわおくづめ	由布市
内成棚田	うちなりたなだ	別府市
軸丸北	じくまるきた	豊後大野市
山浦早水	やまうらそうず	玖珠町
羽高棚田	はだかたなだ	中津市
両合棚田	りょうあいたなだ	宇佐市

大分県の棚田の広さは全国 4 位！だけど棚田は耕作しにくいので
 どんどん米作りをするひとが少なくなっているんだ。大分県では、
 「豊のくに棚田サポートくらぶ」というクラブをつくって、草刈
 りや稲刈りなどを行っているよ！

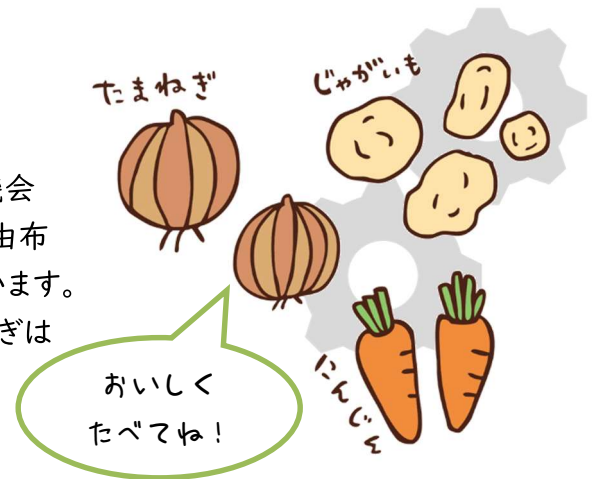


平石棚田
 庄内町平石地区も
 素晴らしい
 棚田があるよ！

³ 農林水産省は、棚田を守ることの必要性を広く国民に呼びかけるために、平成 11 (1999) 年に全国 134 地区 (117 市町村) を「日本の棚田百選」として認定しています。大分県からは、6 地区が認定されています。

学校給食に由布市の野菜を届ける プロジェクト！

由布市でとれた野菜を、由布市のなかで食べる機会をふやせるように、市内の学校給食で使う野菜を由布市の農家さんに作ってもらい取り組みをすすめています。学校給食で出てくる、にんじん、じゃがいも、たまねぎはおもに由布市で育ったものです。



畜産（牛の繁殖、肥育、酪農）

由布市では、牛の畜産業がさかんです。湯布院地域塚原高原は、大分県ではじめて畜産をはじめた場所といわれています。牛のはんしょく（たくさん産んでふやすこと）や、肥育（子どもの牛を大きく育てること）、酪農（乳をしぼって、牛乳やチーズなどにする）の農家があります。大分県では、山に囲まれた土地をいかして、田うえをさなくなった田んぼやくぬぎの林で放牧（広い土地で自由に動けるように飼育すること）をすすめています。由布市でも、草原だけでなく、棚田の中に牛をみる事ができます。



のや 野焼き

はるのや おこな 野焼き 春がくるまえに野焼きを行います。野焼きによってきれいな草原をい



じすることができます。もえた草がひりょうになり、牛が食べるおいしい草が育ちます。野焼きにはきけんもありますが、野焼きをしなければ草や木がはえ、草原に戻すことがむずかしくなるのです。

しょうない あかなし
庄内の赤梨

なし めいさんち しょうない なし み じゆく とぎ
梨の名産地、庄内の梨は実が熟す時
に袋をかけず、梨の実がよく熟れた
色になるために「庄内の赤梨」とし
て有名です。ほとんどの農家は全国
の特定のお客様に直接販売するの
で、通常では市場へほとんど出荷さ
れることはありません。国道210号
沿いを中心とした梨ロードにはたくさんの直売所が並んでいます。



ちよくばいじよ なら
ちよくばいじよ なら

認定店 庄内なし
由布市梨生産者直販協議会
山田市・庄内町 安全・安心
おいしさ満載

梨ロード直販所マップ

特産品

特産品	商品名	販売所	電話番号	販売時期
①	梨パイ・梨タルト	大塚梨園	090-3733-4044	11月～6月
②	赤梨ゼリー	菊家(狭間)	533-2222	年中

おいしい庄内なしを食べてみらんかえ〜

直売所	代表者	電話番号	販売時期
① 日野梨園	日野 博文	0988-3496	7月下旬～11月中旬
② 大野梨園	大野 雄二	0982-3378	8月上旬～11月上旬
③ 大塚梨園	大塚 雅彦	0982-3928	8月上旬～11月下旬
④ 梨のいわた	網田 治行	0982-1006	8月上旬～11月
⑤ 小野農園	小野 健三	090-9678-5106	8月上旬～10月下旬
⑥ 酒井梨園	酒井 久	0982-1669	8月上旬～10月下旬
⑦ 半澤梨園	半澤 雅弘	0982-3630	8月上旬～12月上旬
⑧ 森永農園	森永 大吾	090-2092-6160	8月上旬～10月下旬
⑨ 新梨園	小野 晋代英	0982-1608	8月上旬～10月下旬
⑩ 佐藤農園	佐藤 治浩	0982-1631	8月～10月

●制作: 由布市農政課 ●協賛: 由布市商工会庄内支所 ●お問い合わせ先: 由布市農政課 由布市庄内町緑野302 TEL.097-582-1111 ●市外局番はすべて097-000-0000です。

幸水、豊水、二十世紀、新高、愛宕などの品種が作られているよ。大分県内では、由布市や日田市、中津市などが主な産地なんだ。



イチゴ

おおいたけんさん
大分県産オリジナルイチゴの「ベリーツ」と「さがほのか」が主に生産されています。「ベリーツ」を使用した手作りのいちご酢「莓ビネガー」なども販売されています。



ベリーツは大分県が8年をかけて開発したオリジナルの品種だよ。ストロベリーとスイーツを合わせてつくられた名前だよ。



あまねぎ

やわらかい食感と、ふつうの白ねぎよりも甘みがあるのが特徴。11月から2月ごろが収穫時期です。



トマト

しょうないちいき あそのちく ちゅうしん せいさん
庄内地域の阿蘇野地区を中心に生産される「みそら」は美容と健康に優れています。

ほうれん草^{そう}

ゆふいんちいき きこう すず
湯布院地域の気候が涼しいため、
ねんかん つう せいさん
年間を通じて生産されています。



ゆず

ゆふいん しもゆのひらちいき
湯布院の下湯平地域では、ゆずの
せいさん さか
生産が盛んで、「ゆずごしょう」な
どのかこうひん
加工品は、おみやげとしても
にんき
人気があります。

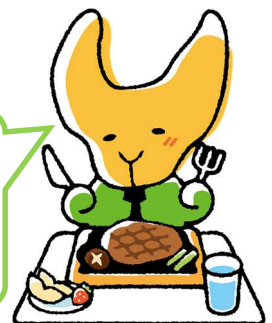


ブルーベリー

がつ がつ きかんげんてい つぶ おお
6月から9月の期間限定で、粒が大き
かわ うす あま とくちょう
く皮が薄くて甘いのが特徴。ブルー
ベリージャムやヨーグルトなどの
かこうひん はんばい
加工品も販売されています。



その他にも、アスパラガ
ス、オクラ、とうがらしな
どがせいさん
生産されているよ。



スポーツ

おおいたけんりつ ゆ ふ こうこう しゃげきぶ 大分県立由布高校 射撃部

ライフル射撃部がある学校は、大分県では2つの高校しかありません。その1つが由布高校です。

由布高校の射撃部は大分県高等学校総合体育大会で、男女ともに総合優勝しています。男子は7年つづけて7回もインターハイに出場しています。九州高校ライフル射撃新人大会でも男子は総合2連覇を達成しました。個人では男女合わせて金メダル2個、銀メダル1個を手に入れ、男子3人、女子2人が全国選抜大会へ進んでいます。



ゆふいん ぼんち けんこう SPA健康マラソン

毎年秋になると、「湯ったり走ろう」をテーマに湯布院町でマラソン大会が行われます。2.7km、5km、10kmのコースを選ぶことができるので、自分の体力に合わせて“ゆったり”と走ることができます。パフォーマンス部門があり、楽しく仮装して走る様子は、応援していても楽しいです。参加者には無料の入浴券が配られます。※2019年から「湯布院SPA健康リレーマラソン」として、湯布院スポーツセンターを会場にリレーマラソンを開催しています。



2019年から「湯布院SPA健康リレーマラソン」として、湯布院スポーツセンターを会場にリレーマラソンを開催しております。

Yufuin Ride (ゆふいんライド)

ゆふいん じっこういんかい ちゅうしん
由布院サイクリングライフ実行委員会を中心に
じてんしゃ とも い とも く せいかつ
「自転車と共に生きる、共に暮らす生活」をテー
ちいき く かた じてんしゃ み ちか かん
マに、地域で暮らしている方に自転車を身近に感
じてもらうことと、ゆふいん おとす かた あら
湯布院を訪れる方へ新たな
みりょく はっしん まいとしかいさい
魅力を発信するために、毎年開催しているサイク
リング大会です。たいかい ゆふいん あじむ しゅうかい やく
湯布院から安心院を周回する約
70kmのロングコースと、しよしんしゃ さんか やく
初心者でも参加できる約
35kmのショートコースの しゆるい ゆふ だけなど ぜっけい
2種類があり、どちらも由布岳等の絶景を
まんきつ みりょくてき そうこう
満喫できる魅力的なサイクリングコースを走行します。



由布市のまちづくりに貢献した人

くどうさんすけ 工藤三助

江戸時代前期から中期にかけて、由布市の農業にかかせない田んぼに水をひくために活やくした人です。本名は谷村理右衛門三助といいます。三助が生まれた谷村は水に恵まれず、米づくりにとても苦労していました。田んぼに必要な水をあつめるため、「野津原三渠」といわれる大竜井手（約6.7km）、鑰小野井手（約13.7km）、提子井手の3本の井手（井路）の開発に力を入れ、約700ヘクタールの農地をうるおしました。毎年、田植えの前になると井路の水恩祭が行われます。この祭りには三助の子孫が招待され、田んぼの水をひく前に感謝の気持ちを持ちを捧げます。

工藤三助にまつわる伝説～不動岩～

鑰小野井路をつくる時、ある程度工事が進んだところでどうしても掘れない大きな岩が出てきました。この石を掘らないと井路はどうしてもつくれません。困り果ててお祈りしたところ、三助の夢の中に不動明王があらわれ、「石の上で火をたき、水をかけるといい」と言いました。そこで三助はさっそく言われたとおりにしてみると、岩が真っ二つに割れました。そして、工事を無事に終えることができました。

工藤三助と湯平の石畳

湯平温泉の中央に敷かれた情緒ある石畳は、約300年前の江戸時代の享保年間に病魔退散を祈願し、三助が建設したものです。



ごとうならね 後藤 檜根

ごとうならね おおいたけんはさままちしゅっしん じどうぶんがくさっか
後藤檜根は大分県挾間町出身の児童文学作家です。

ちい ぶんがく きょうみ も さい わか どうようしゅう そら ひつじ
小さいころに文学に興味を持ち、16歳という若さで童謡集「空の羊」
しゅっぱん きょうし どうよう そうさく
を出版しました。教師をしながら童謡などの創作をしていましたが、
30さい とぎ きょうし や さっか
30歳の時に教師を辞めて作家になることを決めました。

しゅうせんご こころ な こ すがた こころ いた ならね
終戦後、心にゆとりの無くなった子どもたちの姿に心を痛めた檜根
は、ふたたび どうわ どうよう も あ にほんどうわかい た あ
は、再び童話や童謡を盛り上げるために「日本童話会」を立ち上げま
した。

ほか ならね わか じどうぶんがくしゅ いくせい ちから い おお しょう じゅ
その他に檜根は、若い児童文学者の育成にも力を入れ、多くの賞も受
しょう じどうぶんがく はってん ちから そそ ならね
賞しました。そして、ひたすらに児童文学の発展に力を注いだ檜根の
さくひん いま おお ひと よ つ
作品は、今でも多くの人に読み継がれています。

～後藤檜根の代表的な作品～

童謡集「空の羊」(大正 13(1924)年 16歳初めての自費出版)

童話集「光に立つ子」(昭和 15(1940)年 32歳本格的に童話制作を始める)

長編童話「黒潮の子」(昭和 18(1943)年 35歳教師初任地保戸島の子ども達をモデルにした。望郷の念が強かった檜根にとって思い入れの深い作品)

雑誌「月刊童話」(昭和 21(1946)年 38歳以後平成 4(1992)年までこの雑誌は新人児童作家の登竜門となる)

●調べてみよう、やってみよう! ●

1	図書館で後藤檜根の作品を探してみよう。	
2	次のページの後藤檜根の作品を音読してみよう。	

ごとうならね だいひょうてき さくひん しょうかい
～後藤櫓根がつくった代表的な作品を紹介します～

つきよ わたはたけ
月夜の棉畑

わた はたけ
棉の畑さ

つきよ
月の夜さ

だれ い
誰かが行くよな

かえ
帰るよな

しろ
白くけむって

わた はな
棉の花

よ こども
どこかで子供が
呼んでいる



そら ひつじ
空の羊

かあ
母さま

そら
空にたくさんの

ひつじ
羊がならんで行ってます

きれいなからだ

おくおくと

ゆうひ ひか
あかい夕日に光らして

しず そら
静かに空を行ってます



とり うた
鳥も唄わぬ

のほら
ひろ野原

よ こ
それにさびしい夜も来よに
ものも言わずに羊らは

かあ
母さま

い
どこへ行くのでしよう

ごとうじゅんぺい 後藤純平

めいじじだい だいげんにん べんごし めいじ ねん さい とき う
明治時代の代言人（弁護士）です。明治3（1870）年、18歳の時に生ま
れた場所である豊後大分郡で農民一揆を起こして逮捕されました。そ
のあつ なかつ おおいたけんだい ごう だいげんにん べんごし せいなんせんそう
後、中津で大分県第1号の代言人（弁護士）となりました。西南戦争
ではなかつたい つく さいごうぐん くわ ばしよ たたか
中津隊を作って西郷軍に加わり、いろいろな場所で戦いましたが、
かごしま しろやま つか めいじ ねん がつ にち さい しょけい
鹿児島の城山で捕まり、明治10（1877）年10月20日28歳で処刑され
ました。

かとうまさと 加藤正人

ゆふ し はさ ましゅっしん みんようけんきゅう だいいちにんしゃ おんがく せんせい
由布市挾間出身の民謡研究の第一人者です。音楽の先生をしながら
おおいたけんない みんよう のこ かつどう ねん でんとう
大分県内の民謡を残す活動をしました。450年という伝統がある
つるさきおど え どじだい ふっかつ
「鶴崎踊り」のおはやしを江戸時代につくられたときのまに復活さ
せました。これがきっかけとなり、つるさきおど くに せんたくむけいみんぞくぶんか
鶴崎踊りが国の選択無形民俗文化
ざい してい ねんかん きょく
財に指定されています。50年間で2000曲をあつめたそうです。た
くさんのしりょう じたく ゆふ しりつとしょかん たいせつ ほかん
資料は自宅と由布市立図書館に大切に保管されています。
きちょう おんげん べっふだいがく きょうりょく か
貴重な音源は、別府大学の協力でデジタル化されました。

第4章

由布市の自然



挟間地域

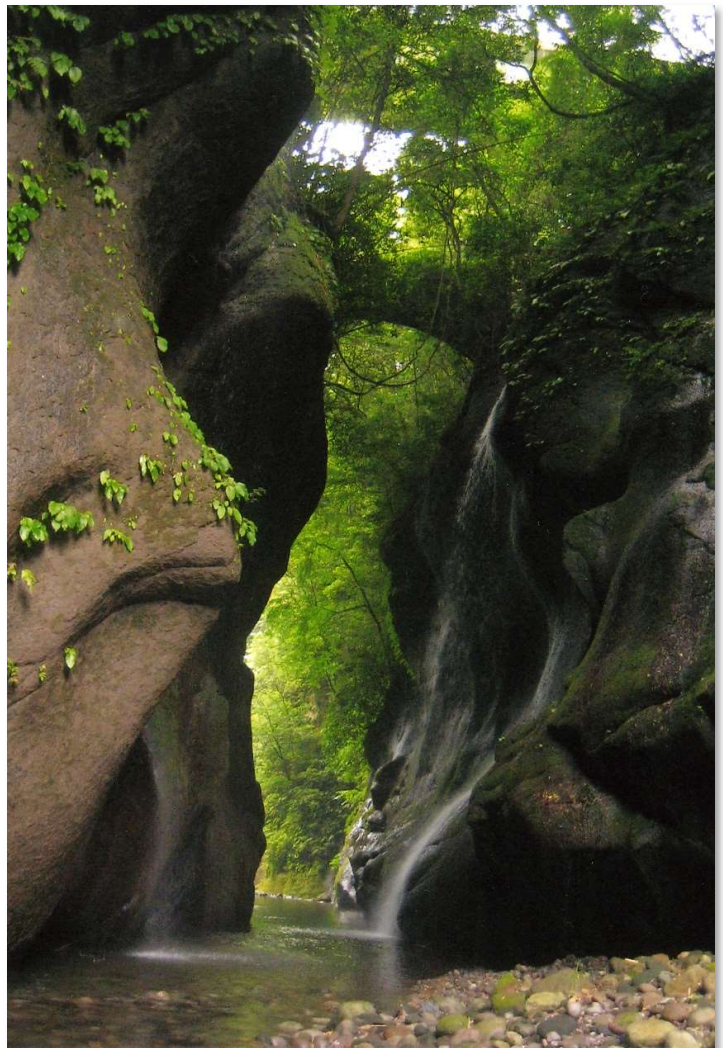
ゆふがわきょうこく 由布川峡谷

県指定文化財【名勝】昭和 34(1959)年 3月 20日指定

ゆふがわきょうこく おおいたがわ しりゅう ゆふがわ しょうりゅう ちゅうりゅう なが
由布川峡谷は、大分川の支流となっている由布川の上流、中流の長さ
やく きょうこく たに はば せま りょうがん
約12kmの峡谷です。谷の幅は4mから10mと狭く、両岸はがけのよ
うになっていて、低いところでも10m、高いところでは80mにもなり
ます。谷のそこは、なつ すず ふゆ かん いちねんじゅう
夏は涼しく、冬はあたたかく感じられます。一年中
しめっていて、そういつた場所を好む植物がみられます。めずらしい鳥
とり
もおお せいそく わ なが お みず
も多く生息しています。さまざまに分かれて流れ落ちる水や、しなや
かな岩肌は天然の芸術作品で、「東洋のチロル」と呼ばれています。

貴重な地質がみられる場所

由布川峡谷は、由布川火砕流により厚く堆積した火砕流堆積物を由布川が長い時間をかけて浸食されたことによって形成された峡谷です。切り立った崖からは、火砕流堆積物の特徴でもある小さな軽石をたくさんみることがができます。このように、由布川峡谷は地質学的にも観察しやすい環境がある、貴重な学びができる場所になっています。



オトメクジャク

この植物は、日本では大分県でしか確認されていないシダ植物で、安心院の一部と挾間の一部でしかみることができません。オトメクジャクが好んで生育する石垣などが減っているため、絶滅が心配されています。



マツバラ

挾間地域の鬼瀬周辺に、マツバラの群落があります。この植物は、根も葉もない茎だけの原始的な植物で、「生きた化石」とも言われています。黄色い実のようなものは「孢子」がはいっている袋です。



まだいる! 貴重な生き物たち

ヒゴタイ

夏に青紫色の球のような花を咲かせるヒゴタイは、西日本より南のごく一部でしかみることができません。このため、環境省が絶滅危惧種として指定しています。由布市では由布岳等で美しい姿をみることができます。



カヤネズミ

我が国で確認されているネズミの中で、最も小さいネズミです。カヤヤススキなどのイネ科の植物が多く生えている草原や河原などにすみますが、そのような場所が減っているため、なかなかみることができません。

ブツポウノウ(仏法僧)

営巣に適した老木が少なくなったことで、生息数が減少しており、環境省、大分県ともに絶滅危惧IB(EN)に指定されています。日本では、夏鳥として、本州、四国、九州で繁殖をしています。庄内地域においても、飛来が確認されています。



庄内地域

なかとみじんじゃ しんぼく 中臣神社の神木アカガシ

市指定重要文化財【天然記念物】
平成 19 (2007) 年 6 月 29 日指定

木の高さは 18m、胸の高さでの幹の太さは 4m65cm、枝張り南北 22m を測る。古木であることと、かつての植生の様相を伝える貴重なものです。



おいけゆうすいぐん 男池湧水群

「日本の名水 100 選」に選ばれた男池は、黒岳の登山口のそばにあります。青くすき通る水がとても美しいです。黒岳にふった雨が 1 年ほどかけて、ミネラルをたっぷり含んでわき出てきます。近年ではペットボトルでも販売されています。



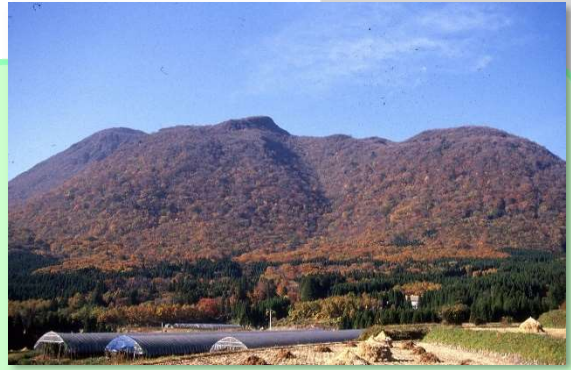
めいすい たき 名水の滝

名水の滝は、男池の下流にある、湧水をたっぷり含んだ滝です。庄内地域の阿蘇野地区にあります。夏になると滝の周辺はひんやりとしてきもちよくすごせます。男池から遊歩道で森林浴をしながらあるくことができます。



くろだけ ひょうこう
黒岳(標高1,587m)

「21世紀に残したい日本の自然100選」
 昭和 58(1983)年 1月 1日 指定



お いけ ゆうすい めいすい たき うつく
 男池湧水や名水の滝など美しい
 しぜん う だ くろだけ
 自然を生み出したのが黒岳です。く
 りんざん ひがし あそ
 じゅう連山の東にあり、阿蘇くじ
 こくりつこうえん してい
 ゅう国立公園に指定されています。登山道にはシャクナゲがさき、
 とざんどう
 中腹には自然の冷蔵庫としてつかわれていた風穴があります。「21世
 ちゅうぶく しぜん れいぞうこ ふうけつ
 紀に残したい日本の自然100選」に選定されました。
 き のこ にほん しぜん せん せんてい

くろだけ しぜんりん
黒岳の自然林

大分合同新聞選定「大分百景」
 昭和 37(1962)年 11月 3日



くろだけ やま ぼっさい さいがい しんりん
 黒岳の山は伐採や災害などで森林
 はかい ひと て くわ
 破壊されることなく、人の手も加え
 られていない自然のままの森林
 しぜん しんりん
 (原生林)で覆われていることから、
 おおいたひゃっけい えら
 「大分百景」に選ばれています。ブナ・ケヤキ・オヒョウ・ミズメ・
 シデ・コナラのほかに 5月・6月には鮮やかなピンク色に咲いたツク
 あき るい こうよう たの
 シシャクナゲやミヤマキリシマ、秋にはカエデ類が紅葉を楽しませて
 くれます。

けいせんきょう
溪仙峡

けいせんきょう あそのがわそ たに
 溪仙峡は、阿蘇野川沿いにある谷で、
 よみどけいこく よ
 夜見渡溪谷とも呼ばれています。
 けいこく たなら いわはだ
 溪谷にはケヤキが立ち並び、岩肌が
 おか
 むきだした丘にモミジやシャクナ
 お
 ゲが生いしげり、季節によって、そ
 すがた か やちよう おお
 の姿を変えます。また、野鳥が多く
 あつ たの
 集まるため、バードウォッチングを楽しむこともできます。



湯布院地域

ゆふだけ 由布岳

ゆふいんえき お ゆふいん おく み うつく やま ゆ
由布院駅を降りてすぐ、由布院のまちなみの奥に見える美しい山が由
ふだけ ひょうこう さんちょう わ とくちょう
布岳です。標高は1,584mで、山頂が2つに分かれているのが特徴で
す。そうたい すがた ふんごふじ よ ふる さんかくしんこう たいしやう
す。壮大な姿から「豊後富士」と呼ばれ、古くから山岳信仰の対象と
されてきました。まいとし がつじやうじゆん やまびら あんぜんきがん おこな いちねん
毎年5月上旬に山開きと安全祈願が行われ、一年を
けんないがい おお ひと やまのぼ
つうじて、県内外から多くの人が山登りにおとずれます。



由布岳の恋ものがたり

今よりもずっと昔、由布岳と祖母山が鶴見岳に恋をしました。お互い鶴見岳を手に入れるために勝負しますが、決着がつかず、最終的に鶴見岳に選んでもらうことになります。鶴見岳が選んだのは由布岳。悲しみに暮れた祖母山は大粒の涙を流し、それが今の志高湖になったと言われていす。鶴見岳と由布岳の仲は今もアツアツなため、別府と由布院には熱い温泉が湧き続けていると言われていす。



オンセンミズゴマツボ

県指定文化財【天然記念物】平成 27 (2015) 年 2 月 24 日指定

オンセンミズゴマツボは、大人になっても 4 ミリぐらいにしかならない、小さな巻貝です。とても珍しい生き物である理由は、温泉の中でしか生きることができないからです。その温度は約37℃。このように高い温度の真水に住んでいる貝は世界でも、このオンセンミズゴマツボだけです。かつては宝泉寺温泉（九重町）や鉄輪温泉（別府市）などにも生息が確認されていましたが、埋め立てなどにより消えてしまいました。今では世界中でも、金鱗湖のまわりの水路のみでしかみることができません。このことから、平成22(2010)年に「大分県希少野生動植物の保護に関する条例」に登録され、平成27(2015)年には大分県の天然記念物に指定されました。

貴重な生き物「オンセンミズゴマツボ」

平成24(2012)年から由布市役所環境課の中で飼育実験がはじまったよ。約2か月で30匹を200匹に増やすことができたよ。この実験で、オンセンミズゴマツボの寿命や嗅覚があることがわかったんだ。(平成 27 (2015) 年に飼育実験は終わっています。)



寿命は6か月～8か月だよ。
嗅覚があるから、おいしいえさをすぐに見つけられるよ。



ぶっこうじ 仏光寺のイチヨウ

市指定重要文化財【天然記念物】
平成 19 (2007) 年 6 月 29 日指定

木の高さは 26.5m、胸の高さでの幹の太さは 5m33cm、とイチヨウとしては大木です。イチヨウは「生きた化石」とも呼ばれています。



きんりんこ 金鱗湖

由布院を代表する観光スポットの一つが金鱗湖です。名前の由来は、明治のはじめ儒学者・毛利空桑が、湖で泳ぐ魚のうろこが夕日で金色に輝いていたためとされています。清水と温泉が湖に流れ込んでいると言われており、一年中水温が高い金鱗湖では冬のはやい朝、湯気がたちのぼる幻想的な光景を見ることができます。



あそ こくりつこうえん 阿蘇くじゅう国立公園

あそ こくりつこうえん くまもとけん おおいたけん きゅうしゅう なか
阿蘇くじゅう国立公園は熊本県と大分県にまたがる九州のまん中に
いち こくりつこうえん そうめんせき
位置する国立公園です。総面積は、72,678 ヘクタールあります。お
おきく 3 のエリアにわかれています。1 つ目が、くまもとけん あそさん ちゅうしん
とした地域、2 つ目がくろだけ れんざん、そして、3 つ目がゆふ
だけ つるみだけ かざん ちゅうしん やま
岳と鶴見岳といったいとなっています。すべて火山を中心にした山で、
そのまわりにはゆうだい そうげん とくちょう
そのまわりには雄大でなだらかな草原がひろがっているのが特徴です。



おおいたがわ
大分川

おおいたがわ おおいたけん ま なか なが いっきゅうかせん じょうりゅう かりゅう
大分川は大分県の真ん中を流れる一級河川です。上流から下流まで
なが りゅういきめんせき ゆふだけ にしがわ ゆふいん
の長さは55kmで、流域面積は650km²。由布岳の西側から、由布院
ほんち なんとう なが しょうないちいき あそのがわ せりがわ ごうりゅう
盆地を南東に流れながら、庄内地域の阿蘇野川、芹川などと合流し、
おおいたし べっぶわん なが ゆふし
大分市のまちなかをとおり、別府湾に流れこんでいます。由布市の
せいかつ ひつよう みず おお おおいたがわ きんねん
生活のなかで必要となる水の多くを大分川にたよっています。近年、
むかし すく あわ う かわ
「昔にくらべてホタルが少なくなった」「泡が浮いている」など、川の
すいしつ わる しんばい こえ おお
水質が悪くなっているのではと心配する声が多くよせられています。
じゅうみん しゅたい ゆた みずかんきょうそうしゅつ かいぎ せつりつ
そこで、住民が主体となり、「豊かな水環境創出ゆふいん会議」が設立
されました。ゆふし なが おおいたがわ かんきょう まも
ゆふしをつらぬいて流れる大分川の環境を守るために
かっとう
活動しています。

●調べてみよう、やってみよう！●

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 大分川の源流がどこにあるか調べてみよう。 |
|---|----------------------|



～大分川の源流(由布院)～



～大分川の中流(小野屋)～

由布市のたくさんの温泉



湯布院地域



全国で有名な温泉地です。「塚原温泉」「由布院温泉」「湯平温泉」⁴という3つの温泉地があり、それぞれ違った温泉を楽しむことができます。共同浴場もたくさんあるので、温泉めぐりが楽しめます。

ゆふいんおんせん きょうどうよくじょう 由布院温泉の共同浴場

きょうどうよくじょう ちいき ひと かんり おんせんしせつ ゆふいん
共同浴場とは、地域の人たちで管理している温泉施設です。由布院には、
きょうどうよくじょう おんせん えん はい
4つの共同浴場があります。どの温泉も200円で入ることができます。



おつまるおんせんかん
～乙丸温泉館～
(そのほかに、かせい ゆ
加勢の湯があります。)



した ゆ
～下ん湯～



おんせん
～ゆのつぼ温泉～



由布市の情報発信ツール
由布市ポータルサイト「ゆふポ」ができました!



由布市の暮らし・防災・観光情報をわかりやすくまとめた「由布市ポータルサイト」(通称「ゆふポ」)を公開しています。
由布市に訪れた人も住んでいる人も役立つ情報を掲載しています。
「ゆふポ」で由布市の良いところを知って、由布市をPRしていきましょう。

スマートフォン、タブレットで右記のQRコードを読み取るか、下記アドレスからアクセスしてください。たくさんのご利用をお待ちしています。



ポータルサイト用

<https://www.portal-yufu.jp/>

⁴ 温泉地の分類は『おおいた温泉白書』20ページ「大分県の温泉地」を参考。

ゆのひらおんせん
湯平温泉

江戸時代から有名だった湯平温泉。薬などがあまりなかったこの時代に温泉は最高の治療とされていました。中でも湯平温泉は胃腸病に効くことで有名だったため、温泉地としてさらに発展していきました。今でも湯平の石畳は当時のまま、おもかげを残しています。



湯平温泉と種田山頭火

昭和5(1930)年に俳人・種田山頭火が湯平温泉に宿泊したときに詠んだ「しぐるるや 人のなさけに 涙ぐむ」。この句は、山頭火がかわりに干していたせんたくものを、急にふりだした雨に濡れないようにと、宿の娘が取り込んでおいてくれたことに感激して詠みました。湯平温泉にいくと、この句がきざまれた碑が立っています。

しぐれかん
時雨館

湯平温泉に泊まった俳人・種田山頭火を記念して建てられた美術館です。自立たない場所にあり建物も古くなったため、平成29(2017)年6月にメインの石畳通りに移転しました。山頭火を題材にした絵や俳句の作品、山頭火の写真を見ることができます。いすやテーブルもあるので、ゆっくりすごすことができます。



お手持ちの携帯端末で
由布市の情報がもっと見やすく、もっと届く。
もっと由布市が好きになる。

スマートフォンやタブレットで右記のQRコードを読み取ると公式アプリ「ゆふポ」がダウンロードできます。アプリをダウンロードすると、由布市での暮らしに役立つ「お知らせ」が携帯端末に届きます。暮らし・防災・観光の情報がぎゅっとつままったアプリです。



iOS端末用



アンドロイド端末用



アプリを
ダウンロード
してね～!



このマークがある場所では、「無料公衆無線LAN」が利用できます。由布市に訪れた方が、この場所でインターネットに接続することで、宿泊・観光・食の情報を手軽に知ることができます。由布市は観光客の快適な旅をサポートします。

寅さんの映画撮影地になった湯平温泉

湯平温泉は昭和 57 (1982) 年 12 月に公開された映画「男はつらいよ」シリーズ第 30 作目の「花も嵐も寅次郎」の撮影地になりました。当時は寅さん役の渥美清さんをはじめ、沢田研二さんや田中裕子さんなど有名な俳優が湯平温泉を訪れ、撮影が行われました。それを記念して、湯平駅のホームの待合所を改装し、ロケ時に使われた写真などを掲示した「寅さん思い出の待合所」として公開しています。実際に映画の中で寅さんが使用した「縁結びのベンチ」も保存されています。



つかはらおんせん 塚原温泉

つかはらおんせん ゆふだけ きたがわ いち しゅくはくしせつ
塚原温泉は由布岳の北側に位置しています。宿泊施設はプライベート
くうかん たいせつ おお つかはらこうげん うつく しぜん なか
空間を大切にしているところが多いです。塚原高原の美しい自然の中
には、たち寄り湯やカフェ、工房などがありゆったりとした時間をす
ごすことができる人気のスポットです。

だいひょうてき おんせん つかはらおんせん かこうのいずみ かざんかつどう つづ がらんだけ
代表的な温泉は、「塚原温泉 火口乃泉」。火山活動を続ける伽藍岳か
ら吹き出る温泉は皮ふによく効くとされています。

庄内地域

黒岳のふもとには、多くの冷鉱泉（冷たい温泉）や全国でもめずらしい天然の炭酸水⁵がわき出しています。庄内地域の温泉は地域の人々のいこいの場になっています。福祉施設でも、温泉が使われているなど、地域の住民に親しまれています。



おんせんかん みことピア ほのぼの温泉館

JR久大本線庄内駅のすぐ近くにある、旧庄内中学校の校舎を改装した温泉です。地元の人たちによく利用されています。露天風呂や広々とした内風呂があり、食べ物や飲み物を持ち込んで休憩できる場所もあります。文字通り、ほのぼのと入浴することができます。



挾間地域



「挾間八湯」と呼ばれるほど、たくさんのお湯がありました。地元の人たちだけでなく大分市からもたくさんの方が温泉に入りに来ます。温泉の質はとてもよいです。家族で入れるお風呂がある施設も多く人気があります。

⁵ 水メディア「天然炭酸水を日本（国産）で採取できる場所や地域と歴史」<https://atz-1.com/?p=2761>

由布市から地球を感じる「由布ジオパーク」

「ジオパーク」とは、地球（ジオ）に親しみ、地球を学び、地球を楽しむ場所です。山や川、足元の土や岩をよく見て、その成り立ちや仕組みに気づき、生態系や人間の生活とのかかわりを考える、つまり地球をまるごと考える場所、それが「ジオパーク」です。

私たちの住む由布市にも、実はそんな貴重な場所がたくさんあります。身近な場所をもういちど見わたし、よ〜く観察してみませんか？

由布市の地質からみる特徴

由布市には別府市から長崎県島原を走る別府-島原地溝帯に一部の地域がはいつています。そのため、温泉や火山、特殊な堆積構造など、めずらしい自然を見ることができポイントがいくつもあります。なかでも、由布岳は、噴火が約3万5千年以前から始まり、2000年~1500年前にも噴火がおこっています。



主な火口ではない場所からの噴火がおこる側火山も多く形成されています。火山の活動を地形などを通して学ぶことができるため、とても貴重です。別府市や九重町と並び、本市は地質学的にも価値が高い地域とされています。

つかはらいおうやま がらんだけ ふんき 塚原硫黄山(伽藍岳)の噴気

つかはらいおうやま がらんだけ ゆふし べっふし
塚原硫黄山(伽藍岳)は、由布市と別府市
とのさかい近くにある標高1,045mの
かつかざん やく ねんまえ かんが
活火山で、約9,500年前にできたと考え
られます。山の南側には直径約300mの
かこう じめん あな かざん
火口があり、地面のヒビや穴から火山ガ
スなどが噴出しています。1200年前と
ねんまえ お しょうきほ すいしょうき
1000年前に起こった小規模な水蒸気
ばくはつ ふんか かざんばい どせきりゅう たいせき かんが
爆発や噴火で、火山灰や土石流が堆積したと考えられています。

湯布院地域



しょうないちょう あ その けいそうど たいせきこうぞう
庄内町阿蘇野の珪藻土と堆積構造

庄内地域

あ その けいそうど さいくつじょう
阿蘇野にある珪藻土採掘場では、
りょうしつ けいそうど ちそう けいそう せっか
良質な珪藻土の地層（珪藻が石化する
ことによってできた地層）を見ることが
できます。どそう しょくぶつ はな み
土層には植物の花・実・
かふん ふく
花粉を含んでおり、そこからたいせきとうじ
堆積当時の植物だけでなくきこうし
気候も知ることができます。



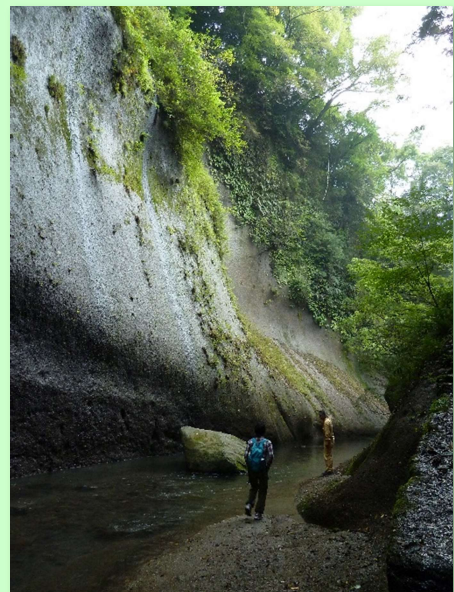
●調べてみよう、やってみよう！●

1	阿蘇野の珪藻土層の観察に行ってみよう。	
2	観察された化石を基に植生や気候について調べてみよう。	

ゆ ぶ が わ き ょ う こ く
由布川峡谷

挾間地域

ゆ ぶ が わ き ょ う こ く ゆ ぶ が わ か さ い り ゅ う つ
由布川峡谷は由布川火砕流が積も
った地面をゆぶ川が長い時間をか
けて浸食し、つくられた峡谷です。
しんしよく きょうこく
切り立った崖からは、火砕流堆積物
とくちょう ちい かるいし
の特徴でもある小さな軽石をたく
さんみることが出来ます。このよう
に、ゆ ぶ が わ き ょ う こ く ちしつがくてき
由布川峡谷は地質学的にも
かんさつ かんきょう
観察しやすい環境がある、貴重な
まな ばしよ
学びができる場所になっています。



第 5 章

資料編



(1) 人口

	人口	時点
挾間地域	16,644 人	令和 2 年 10 月 1 日
庄内地域	6,705 人	令和 2 年 10 月 1 日
湯布院地域	9,423 人	令和 2 年 10 月 1 日
総人口	32,772 人	令和 2 年 10 月 1 日

(出典：国勢調査)

(2) 面積

	面積	時点
耕地面積	32.8 km ²	令和 2 年 2 月 1 日
林野面積	229.41 km ²	令和 2 年 2 月 1 日
宅地面積	10.24 km ²	令和 5 年 1 月 1 日
総面積	319.32 km ²	令和 2 年 10 月 1 日

(出典：農林業センサス他)

(3) 由布市の幼稚園・保育園

認可保育所	令和5年4月1日時点
挾間地域	社会福祉法人産土会 宮田保育園 社会福祉法人産土会 みずほ保育園 社会福祉法人護念福祉会 由布川保育園
庄内地域	社会福祉法人すみれ会 ありのみ保育園 社会福祉法人庄内厚生館 あなみ保育園

幼保連携型 認定こども園	令和5年4月1日時点
挾間地域	社会福祉法人産土会 はさまこども園 社会福祉法人愛の園福祉会 きらりこども園
庄内地域	社会福祉法人愛の園福祉会 ひばりこども園
湯布院地域	社会福祉法人すみれ会 湯布院すみれこども園

保育所型 認定こども園	令和5年4月1日時点
湯布院地域	社会福祉法人聖愛会 聖愛こども園

小規模保育事業A型	令和5年4月1日時点
挾間地域	こどものにわ楓

幼稚園	令和5年4月1日時点
挾間地域	挾間幼稚園、谷幼稚園（休園中） 石城幼稚園（休園中）、由布川幼稚園
庄内地域	阿南幼稚園、西庄内幼稚園
湯布院地域	由布院幼稚園、塚原幼稚園（休園中）

(4) 由布市の小学校・中学校・高校

小学校	令和5年4月1日時点
挾間地域	石城小学校、由布川小学校、挾間小学校、谷小学校
庄内地域	阿南小学校、西庄内小学校、東庄内小学校
湯布院地域	由布院小学校、川西小学校、塚原小学校

中学校	令和5年4月1日時点
挾間中学校、庄内中学校、湯布院中学校	

高等学校	令和5年4月1日時点
大分県立由布高等学校	

(5) 文化財一覧

【国指定文化財】

地域	名称	文化財の種類		指定日
全域	イヌワシ	天然記念物		1965年5月12日
挾間	絹本著色放牛光林像	有形文化財	絵画	1990年6月29日
湯布院	大 杵 社の大スギ	天然記念物		1934年8月9日
湯布院	旧日野医院本館・病棟・離れ	有形文化財	建造物	1999年12月1日

【県指定文化財】

地域	名称	文化財の種類		指定日
挾間	由布川溪谷	名勝		1959年3月20日
挾間	慈航寺石造宝塔	有形文化財	建造物	1973年3月20日
挾間	石造五輪塔（三基）	有形文化財	建造物	1972年3月21日
挾間	狭間氏五輪塔群	史跡		1972年3月21日

地域	名称	文化財の種類		指定日
挾間	北原石造無縫塔	有形文化財	建造物	1973年3月20日
挾間	内成・田代のオトメク ジャク	天然記念物		1976年3月30日
湯布院	オンセンミスゴマツボ	天然記念物		2015年2月24日
湯布院	由布院キリシタン墓群	史跡		1960年3月22日
湯布院	佛光寺六地藏石幢	有形文化財	建造物	1961年3月14日
湯布院	岳本のコナラ原生林	天然記念物		1961年3月14日
庄内	板碑	有形文化財	建造物	1971年3月23日
庄内	石幢	有形文化財	建造物	1972年3月21日
庄内	笠塔婆	有形文化財	建造物	1971年3月23日
庄内	宝塔（二基）	有形文化財	建造物	1971年3月23日
庄内	宝塔及び五輪塔（七基）	有形文化財	建造物	1971年3月23日
庄内	宝塔及び五輪塔	史跡		1971年3月23日
庄内	祖霊廟宝塔	有形文化財	建造物	1975年3月28日
庄内	オダニの車橋	有形文化財	建造物	1977年3月31日
※	刀	有形文化財	工芸品	
※	刀	有形文化財	工芸品	

※は大分県立先哲資料館に保管されています。

【市指定文化財】

地域	名称	文化財の種類		指定日
挾間	小挾間山神社のクロガ ネモチ	天然記念物		2007年6月29日
挾間	中畑石幢	有形文化財	建造物	2007年6月29日
挾間	来鉢神社絵馬	有形文化財	絵画	2007年6月29日
挾間	海老毛横穴古墳群	史跡		2007年6月29日
挾間	柏野石幢	有形文化財	建造物	2007年6月29日
挾間	鬼崎スガメ石橋	有形文化財	建造物	2007年6月29日
挾間	鬼崎磨崖仏第1号	史跡		2007年6月29日
挾間	鬼崎磨崖仏第2号	史跡		2007年6月29日
挾間	向原日向遺跡の日向弥 生式土器	有形文化財	考古資料	2007年6月29日
挾間	朴木旧庄屋高札	有形文化財	歴史資料	2007年6月29日
挾間	後藤家文書	有形文化財	古文書	2007年6月29日
挾間	宮崎家文書	有形文化財	古文書	2007年6月29日

地域	名称	文化財の種類		指定日
挾間	甲斐家文書	有形文化財	古文書	2007年6月29日
挾間	加藤正人氏関連民謡調査資料	有形文化財	歴史資料	2013年9月7日
挾間	大津留家文書	有形文化財	古文書	2010年7月23日
挾間	鬼瀬のマツバラ	天然記念物		2010年7月23日
	皇産霊神社参道 石畳・石段	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	木造阿弥陀如来像及び観音・勢至菩薩立像	有形文化財	彫刻	2007年6月29日
庄内	浄水寺の石幢	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	中臣神社のアカガシ	天然記念物		2007年6月29日
庄内	天満湊神社の鰐口	有形文化財	工芸品	2007年6月29日
庄内	天満湊神社の十一面観音像	有形文化財	彫刻	2007年6月29日
庄内	大應寺の無縫塔	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	摺原の宝篋印塔	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	高岡のキリシタン墓	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	田北氏宝塔	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	東大津留の宝塔二基	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	櫟木の阿南橋	有形文化財	建造物	2007年6月29日
庄内	大分川の立木状炭化木及び火砕流	天然記念物		2007年6月29日
庄内	高岡の田北文書	有形文化財	古文書	2007年6月29日
庄内	永慶寺の茶釜	有形文化財	工芸品	2007年6月29日
庄内	庄内神楽	無形民俗文化財		2007年6月29日
湯布院	若杉のケヤキ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	並若天満社のタブノキ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	嶽雲庵の六地藏	有形文化財	建造物	2007年6月29日
湯布院	天祖神社のスギ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	佛山寺のイチヨウ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	佛山寺のツバキ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	源氏蛭の生息地	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	香椎荘の宝塔	有形文化財	建造物	2007年6月29日
湯布院	若宮八幡社のスギ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	佛光寺のイチヨウ	天然記念物		2007年6月29日

地域	名称	文化財の種類		指定日
湯布院	山崎愛宕様のムクロジとタブノキ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	西蓮寺のフジ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	奥江神社のイタヤカエデ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	奥江神社のコナラ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	湯平山神社のウラジロガシ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	湯平田伏のスギ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	田伏神社のアカガシ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	畑巖島神社のスダジイ	天然記念物		2007年6月29日
湯布院	山石原の禽獣供養塔	有形文化財	建造物	2007年6月29日
湯布院	ゆいん源流太鼓	無形文化財		2007年6月29日
湯布院	ゆいんの庭入り	無形民俗文化財		2013年9月7日
湯布院	香椎荘の笠塔婆	有形文化財	建造物	2010年7月23日
湯布院	宇奈岐日女神社の大スギ	天然記念物		2020年4月27日
挾間	石造不動明王像・墓碑二基	有形文化財	歴史資料	2020年4月27日
湯布院	広徳渠碑	有形文化財	建造物	2020年4月27日

(6) ジオパーク一覽

地域	由布ジオパーク
挾間	由布川峡谷
挾間	篠原の河岸段丘
挾間	鬼瀬の大分川河床立木化石
挾間	燧石の原産地
挾間	長鼻類の足跡化石と淡水産貝化石
庄内	庄内下櫟木の由布川火砕流堆積
庄内	大分川河床の立木化石林
庄内	城ヶ岳の単斜輝面
庄内	小野屋の曲流跡
庄内	庄内町阿蘇野の珪藻土と堆積構造
庄内	男池
庄内	白水鉱泉（冷二酸化炭素泉）
湯布院	塚原硫黄山（伽藍岳）の噴気
湯布院	鬼の箕山
湯布院	小田の池湿原
湯布院	由布岳

